

香美町「公共施設」に関する町民アンケート結果  
報 告 書

平成 28 年 9 月  
香 美 町



# 目 次

1	調査概要	
(1)	調査目的	1
(2)	調査内容	1
(3)	回答者の属性	4
2	調査結果の要旨	
(1)	公共施設の利用状況	7
(2)	日常生活に必要な生活サービス機能	7
(3)	今後の公共施設のあり方	7
3	調査結果の詳細	
(1)	過去1年間の公共施設の利用頻度	8
(2)	公共施設を利用していない理由	12
(3)	日常生活における生活サービス機能の充足状況	13
(4)	日常生活において優先的に維持・確保すべき機能	17
(5)	公共施設の更新問題の関心度	20
(6)	公共施設の整備（総量見直し）のあり方	21
(7)	公共施設の更新費用の負担を減らす方策	24
(8)	優先的に見直すべき公共施設	27
(9)	統廃合または複合化を行なってもよいと考える施設	30
(10)	統廃合または複合化を行なうべきではないと考える施設	31
(11)	公共施設の現状や将来のあり方についての自由意見	32
4	調査票	
(1)	調査票	33
(2)	別紙	40

# 1 調査概要

## (1) 調査目的

本調査は、町民の公共施設の利用状況及び更新（老朽化）問題に対する意向等を把握し、今後の公共施設のあり方の見直し検討及び公共施設等総合管理計画策定の基礎資料とすることを目的として実施したものです。

## (2) 調査内容

### ① 調査対象

20歳以上の町民2,000人（地域によって配布数が過小にならないよう地域ごとに一定数以上の配布数を設定し、住民基本台帳から無作為抽出）

### ② 調査方法

郵送配布、郵送回収（配布にあたっては、公共施設の現状を概説した参考資料（A4サイズ、2ページ）を同封）

### ③ 調査期間

平成28年5月25日（水）から平成28年6月8日（水）

### ④ 調査項目

- ・回答者の属性（問1、問2）
- ・過去1年間の公共施設の利用頻度と利用していない場合の理由（問3）
- ・日常生活における生活サービス機能の充足状況と優先的に維持・確保すべき機能（問4）
- ・公共施設の更新問題の関心度（問5）
- ・公共施設の整備（総量見直し）のあり方（問6）
- ・公共施設の更新費用の負担を減らす方策（問7）
- ・優先的に見直すべき公共施設（問8）
- ・統廃合または複合化を行なってもよいと考える施設（問9）
- ・統廃合または複合化を行うべきではないと考える施設（問10）
- ・公共施設の現状や将来のあり方についての自由意見（問11）

図表 1.1 公共施設の種類と該当する施設

種類	該当する施設
公民館	香住区中央公民館、香住地区公民館、奥佐津地区公民館、佐津地区公民館、柴山地区公民館、長井地区公民館、余部地区公民館、村岡区中央公民館（村岡区民センター・村岡地区公民館）、兎塚地区公民館、射添地区公民館（射添会館）、小代区地域連携センター（小代地区公民館）
文化施設	香住文化会館、小代区総合センター、小代基幹集落センター
資料館等	村岡民俗資料館「まほろば」、香住天文館、八幡山公園、小代古代体験の森
体育施設 （屋内体育施設）	村岡体育館、福岡体育館、射添体育館、味取体育館、山田体育館、おじろドーム、香住B&G海洋センター
高齢者福祉施設	香住高齢者生産活動センター、香住老人福祉センター、香住高齢者ふれあい交流館、村岡リハビリセンター、村岡老人福祉センター、小代高齢者生活支援センター「いこいの里」
診療所	佐津診療所、兎塚診療所、川会診療所、小代診療所、兎塚歯科診療所、川会歯科診療所
観光施設	道の駅あまるべ、道の駅あゆの里・矢田川、道の駅ハチ北、村岡ファームガーデン、村岡・都市と農村交流センター、小代物産館、ジオパークと海の文化館、村岡観光案内所
宿泊施設	国民宿舎「ファミリーイン今子浦」
温泉施設	かすみ・矢田川温泉、ハチ北温泉湯治の郷、温泉保養館「おじろん」
野外レクリエーション施設	グリーンパークハチ北、瀨川溪谷憩いの森、御殿山公園、粗大池公園、但馬高原植物園、ハチ北高原パトロールセンター、ソラ山高原休憩所、小代ウォーターガーデン、吉滝キャンプ場、小代南部健康高原、美方高原休憩所、小代ふれあい歴史公園、小代ゴンドラリフト
行政施設	庁舎（役場、各地域局）、消防格納庫 など
産業施設	農業施設（9施設（村岡有機センターなど））、林業施設（1施設（木質バイオマスセンター））、水産業施設（4施設（香住魚類残さい等処理場など））
学校教育施設	小学校（11施設）、中学校（4施設）、給食センター（3施設）
子育て支援施設	幼稚園（9施設）、保育園（2施設）、認定こども園（1施設）、放課後児童クラブ（7施設）、子育て支援センター（8施設）
公営住宅等施設	町営住宅（14施設）、特定公共賃貸住宅（2施設）

図表 1.2 生活サービス機能の種類

種類	説明
行政窓口機能	行政相談や各種手続の窓口機能
防災機能	災害時における避難所や防災活動に活用する機能
集会機能	会議の場やコミュニティ活動等の交流の場に利用できる機能
教育文化機能	図書の貸出や美術品、郷土品等を通じて教育・文化を学べる機能
スポーツ機能	チームや個人でスポーツができる機能
高齢者支援機能	介護・生活支援、住まいの確保など高齢者の暮らしを支える機能
医療機能	病院・診療所、薬局など病気等の回復・改善を図る機能
レジャー・娯楽機能	余暇を利用して行う遊びや楽しさを提供する機能
子育て支援機能	乳児・幼児・児童の保育や子育て家庭に対する育児支援機能
商業機能	日常的な買物や金融等のサービス機能

## ⑤ 回収状況

配布数 2,000 票に対し有効回収数は 955 票であり、有効回収率は 47.8%です。

図表 1.3 地域別にみた回収状況

	香住区	村岡区	小代区	不詳	合計
配布数	1,207 票	582 票	211 票	—	2,000 票
有効回収数	543 票	287 票	106 票	19 票	955 票
有効回収率	45.0%	49.3%	50.2%	—	47.8%

## ⑥ 集計結果

集計結果のグラフや表については、回答者数に対する割合（%）を示していますが、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しているため、合計が 100%にならない場合があります。

集計結果のグラフや表の見出し及び本文中での回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合があります。

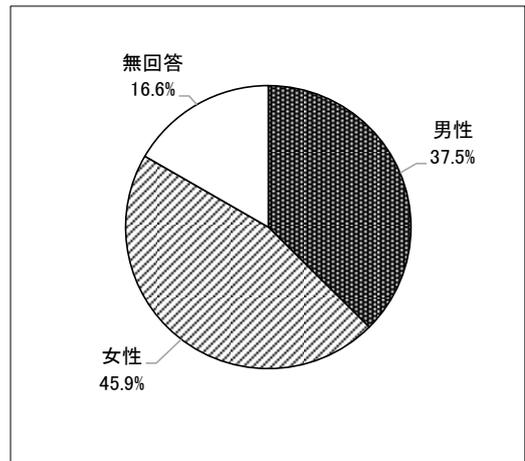
質問ごとに指定する選択数以上の回答があった場合など、無効となる回答については、無回答に含めて集計しています。

### (3) 回答者の属性

#### ア 性別

回答者の性別は、「男性」が37.5%、「女性」が45.9%、無回答が16.6%となっています。

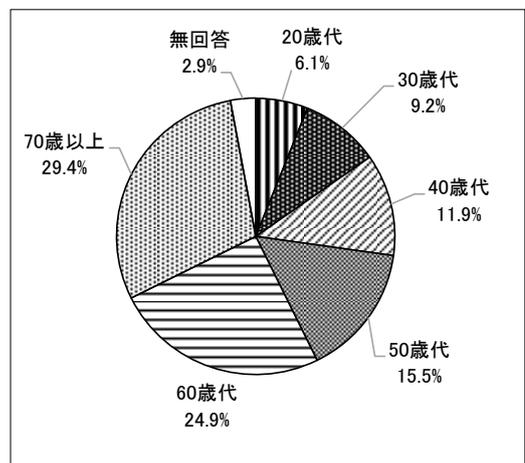
図表 1.4 性別



#### イ 年齢

回答者の年齢は、「70歳以上」が29.4%と最も多く、次いで「60歳代」が24.9%、「50歳代」が15.5%等となっています。

図表 1.5 年齢

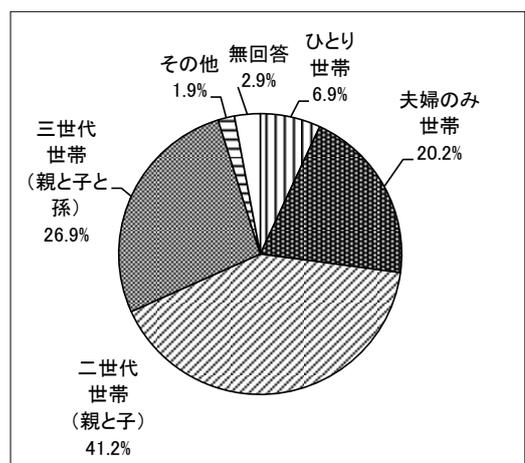


#### ウ 家族構成

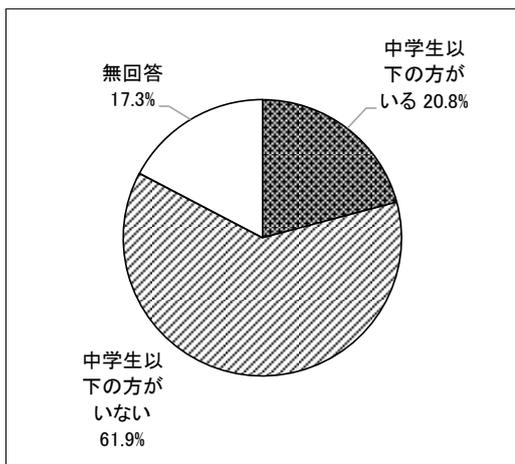
回答者の家族構成は、「二世世代世帯（親と子）」が41.2%と最も多く、次いで「三世世代世帯（親と子と孫）」が26.9%、「夫婦のみ世帯」が20.2%、「ひとり世帯」が6.9%となっています。

また、家族の中に「中学生以下の方がいる」は20.8%、「65歳以上の方がいる」は63.6%となっています。

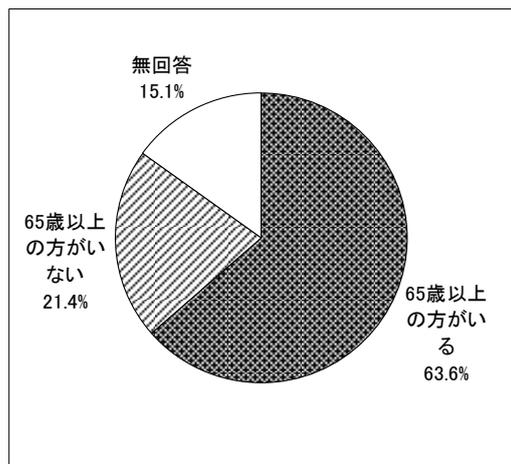
図表 1.6 家族構成



図表 1.7 中学生以下の方の有無



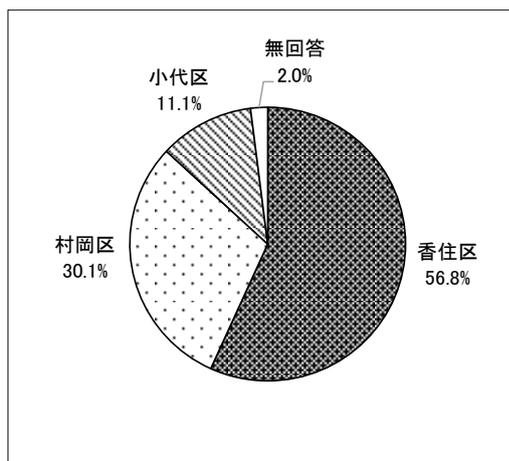
図表 1.8 65歳以上の方の有無



## エ 居住地域

回答者の居住地を地域別にみると、「香住区」が 56.8%、「村岡区」が 30.1%、「小代区」が 11.1%となっています。

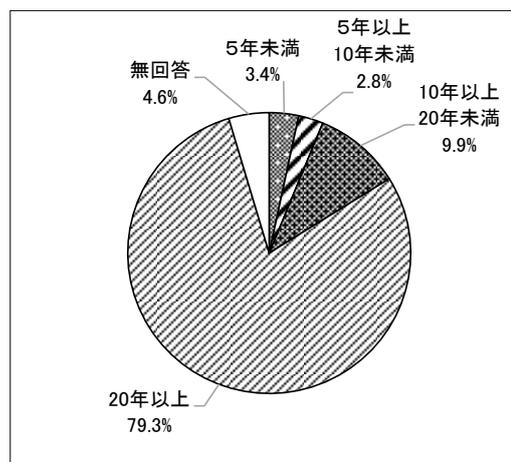
図表 1.9 居住地域



## オ 居住年数

回答者の居住年数は、「20年以上」が79.3%と最も多く、次いで「10年以上20年未満」が9.9%、「5年未満」が3.4%、「5年以上10年未満」が2.8%となっています。

図表 1.10 居住年数



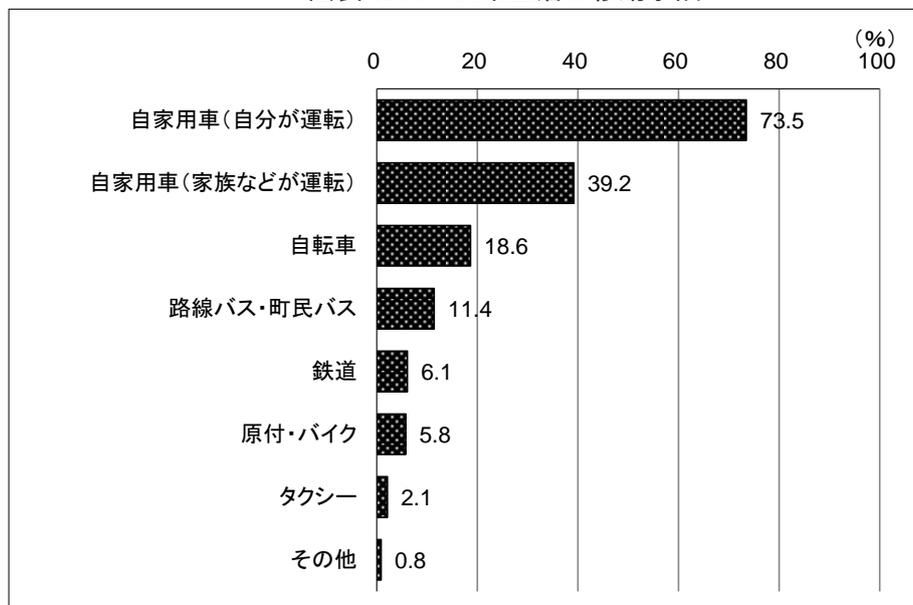
## カ 日常生活の移動手段

回答者の日常生活を支える移動手段（2つまでの複数回答）をみると、「自家用車（自分が運転）」が73.5%と最も多く、次いで「自家用車（家族などが運転）」が39.2%、「自転車」が18.6%等となっています。

「自家用車（自分が運転）」と「自家用車（家族などが運転）」の両方を回答した人は200人であり、この重複分を除外した自家用車を主な移動手段としている人は91.7%となっています。

公共交通については、「路線バス・町民バス」が11.4%、「鉄道」が6.1%等となっています。

図表 1.11 日常生活の移動手段



## 2 調査結果の要旨

### (1) 公共施設の利用状況

- ・公共施設の種類によって利用状況は異なるものの、すべての公共施設で「年に数回程度」と「利用していない」をあわせた割合が、6割以上となっており、公共施設を頻繁に利用している人は限られています。特に「資料館等」は、「利用していない」のみで7割以上を占めています。(図表 3.1)
- ・利用頻度の低い理由としては、「利用する機会がない」が突出して高くなっており、「温泉施設」で6割以上、「診療所」や「観光施設」で7割以上、その他の施設で8割以上を占めています。(図表 3.5)
- ・利用頻度の高い人(「週に1回以上」、「月に1回以上」)の割合は、「公民館」、「診療所」、「観光施設」が比較的高くなっています。(図表 3.1)

### (2) 日常生活に必要な生活サービス機能

- ・日常生活における生活サービス機能の現状については、「医療機能」、「レジャー・娯楽機能」、「商業機能」に対する満足度が低くなっています。(図表 3.6)
- ・日常生活において維持・確保すべき機能については、「医療機能」、「高齢者支援機能」、「行政窓口機能」、「防災機能」、「商業施設」の回答が多く、日常生活における安全・安心の確保を重視されています。特に、「医療機能」については、現状に不満がある人が多いため、対策が必要となっています。(図表 3.10)

### (3) 今後の公共施設のあり方

- ・今後の公共施設の整備の方向性について、総量の見直しを進めるべきとする回答が8割以上を占めています。(図表 3.16)
- ・公共施設の更新費用の負担を減らす方策については、町の保有財産の有効活用や、統廃合や複合化による総量縮減を積極的に実施すべきという回答が多い一方で、特別な税金等による負担増については割合が低くなっています。(図表 3.20)
- ・公共施設を見直す際には、利用実態(「あまり利用されていない施設」)を最も重視しており、次いで施設の安全性(「老朽化が著しい施設」)を重視しています。(図表 3.24)
- ・統廃合または複合化を行ってもよいと考える施設については、「学校教育施設」、「公民館」、「観光施設」の回答が多くなっています。(図表 3.28)
- ・統廃合または複合化を行うべきではないと考える施設については、「診療所」、「公民館」、「子育て支援施設」の回答が多くなっています。特に、「診療所」については、高齢化に関する理由が多くなっています。(図表 3.30)

### 3 調査結果の詳細

#### (1) 過去1年間の公共施設の利用頻度

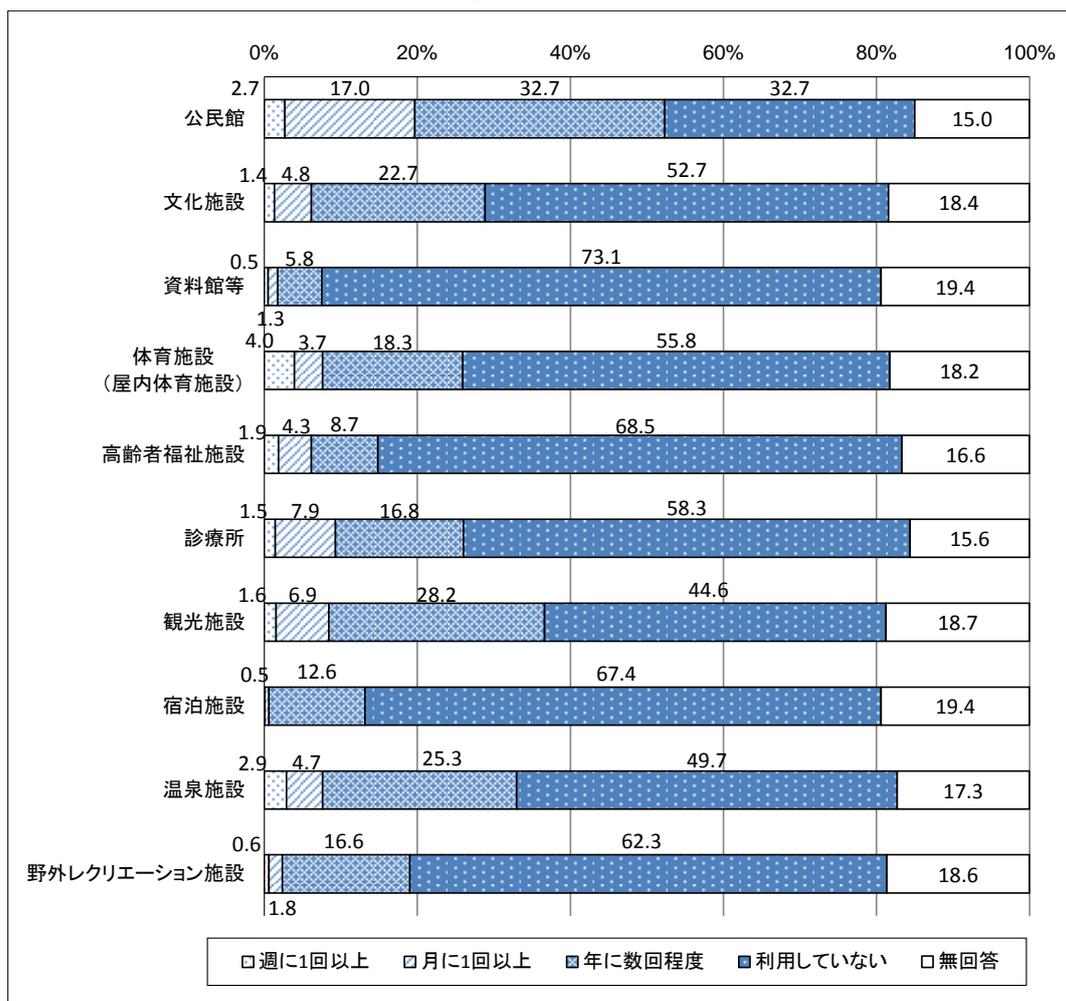
問：過去1年間に町内の公共施設をどのくらい利用しましたか。公共施設の種類ごとに「利用頻度」から該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

#### ア 町全体

公共施設の種類によって利用状況は異なるものの、すべての公共施設で「年に数回程度」と「利用していない」をあわせた割合が6割以上となっており、公共施設を頻繁に利用している人は限られています。特に「資料館等」は、「利用していない」のみで7割以上を占めています。

一方で、利用頻度の高い人（「週に1回以上」、「月に1回以上」）の割合は、「公民館」が19.7%と最も高く、次いで「診療所」が9.4%、「観光施設」が8.5%、「温泉施設」が7.6%等となっています。

図表 3.1 過去1年間の公共施設の利用頻度

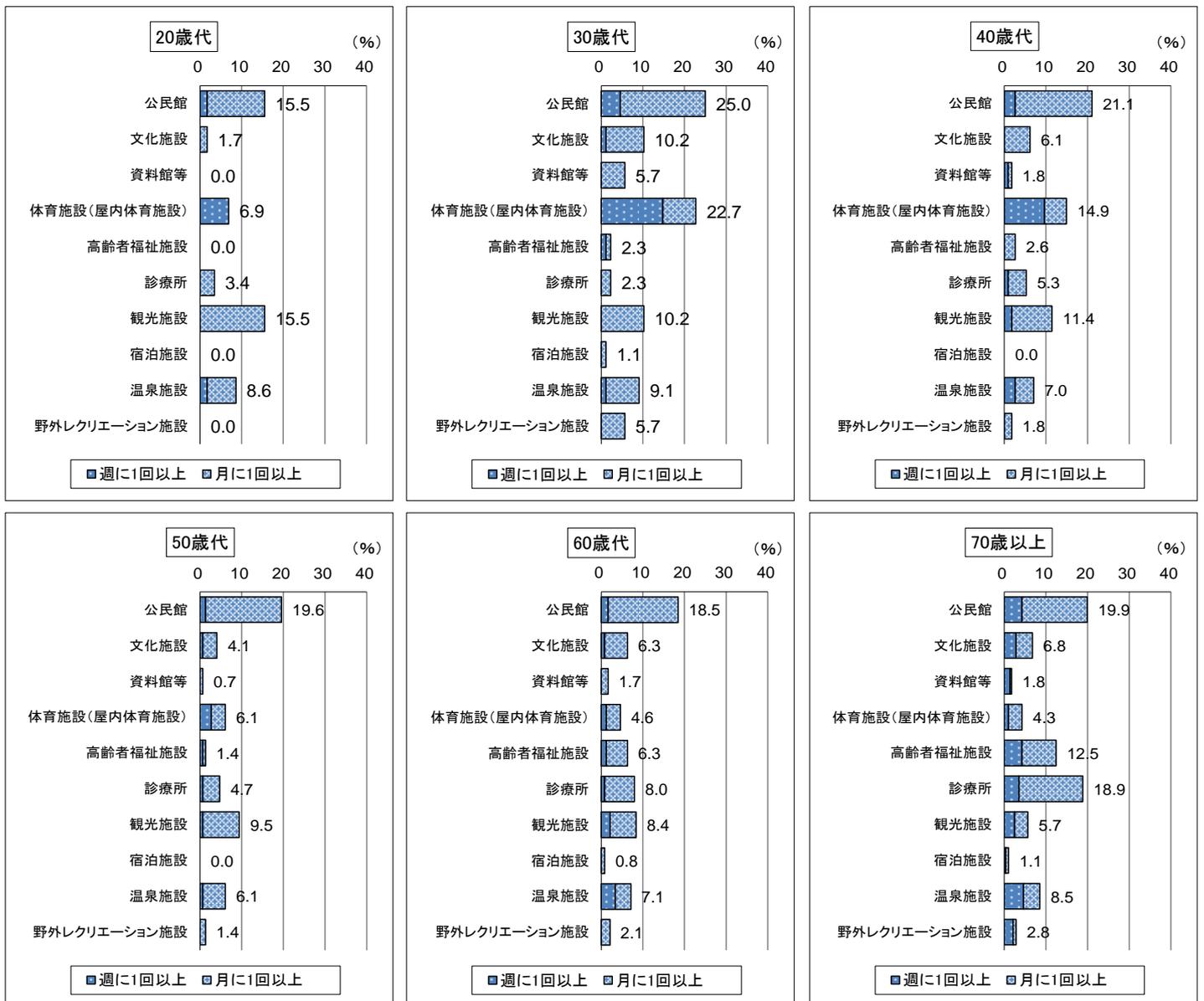


## イ 年齢別

利用頻度の高い人の割合に着目すると、「公民館」はいずれの世代にも利用されており、特に30歳代では25.0%となっています。また、「観光施設」も、幅広い世代に比較的に利用されています。

30歳代、40歳代では「体育施設（屋内体育施設）」が高くなっているほか、世代が高くなるにつれて「高齢者福祉施設」や「診療所」の利用頻度が高くなっており、70歳以上では12.5%、18.9%となっています。

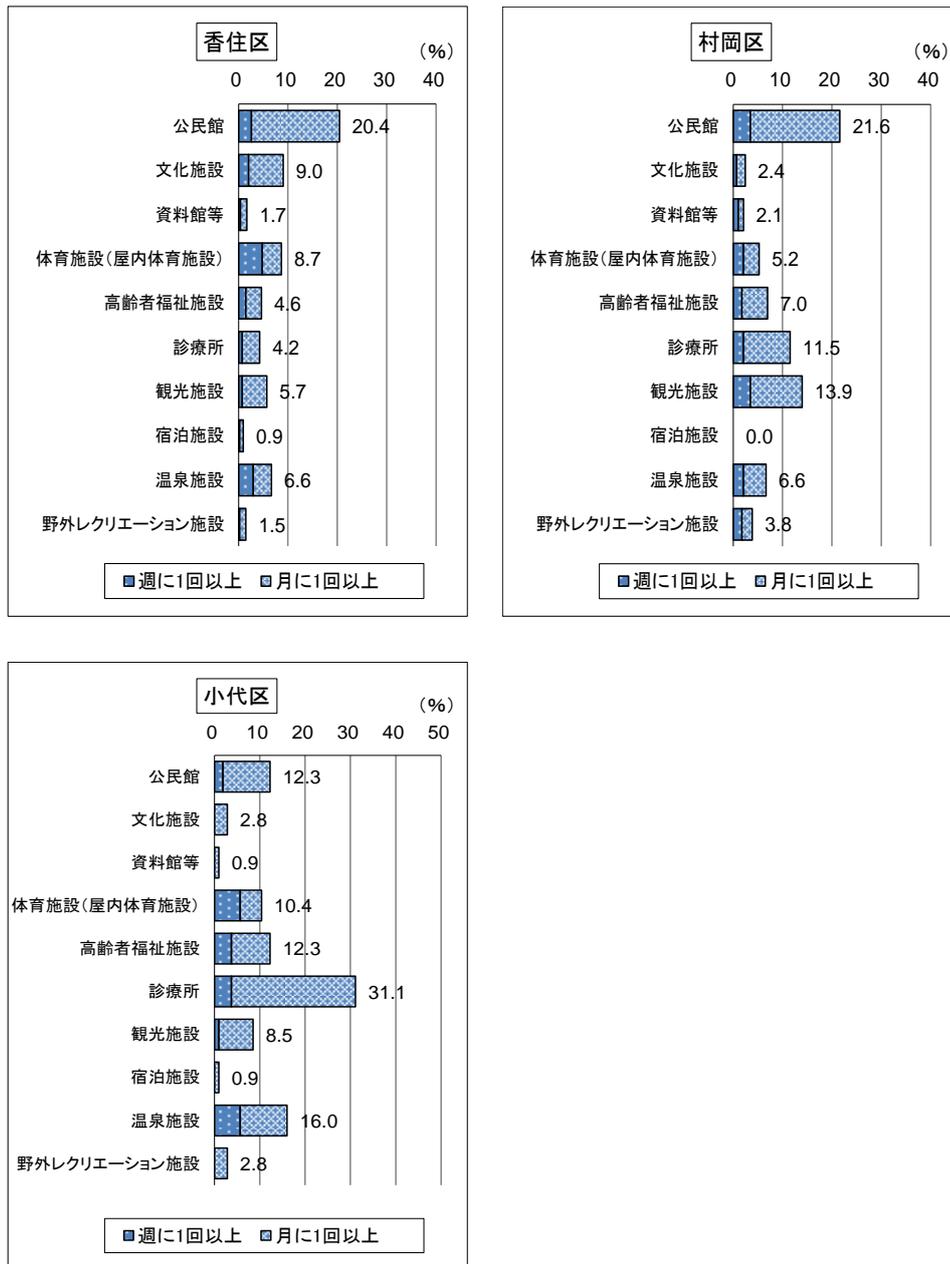
図表 3.2 年齢別 過去1年間の公共施設の利用頻度



## ウ 地域別

利用頻度の高い人の割合に着目すると、香住区や村岡区では「公民館」が最も高くなっていますが、小代区では「診療所」が最も高く、3割以上を占めています。次いで香住区では「体育施設（屋内体育施設）」、村岡区では「観光施設」、小代区では「温泉施設」が高くなっています。

図表 3.3 地域別 過去1年間の公共施設の利用頻度

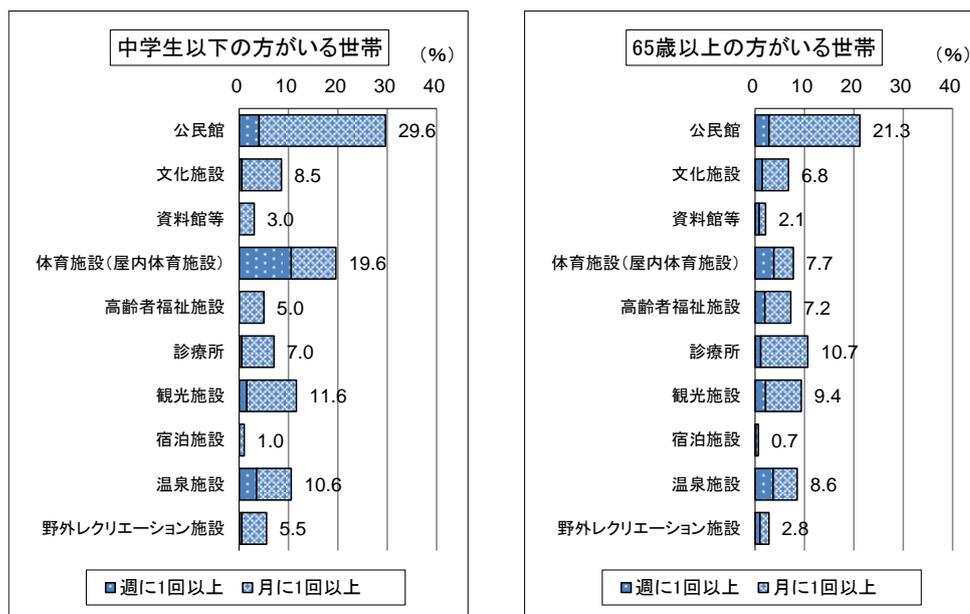


## エ 家族構成別

利用頻度の高い人の割合に着目すると、中学生以下の方がいる世帯では、「公民館」が29.6%と最も高く、次いで「体育施設（屋内体育施設）」が19.6%、「観光施設」が11.6%等となっています。

65歳以上の方がいる世帯では、「公民館」が21.3%と最も高く、次いで「診療所」が10.7%、「観光施設」が9.4%等となっています。

図表 3.4 家族構成別 過去1年間の公共施設の利用

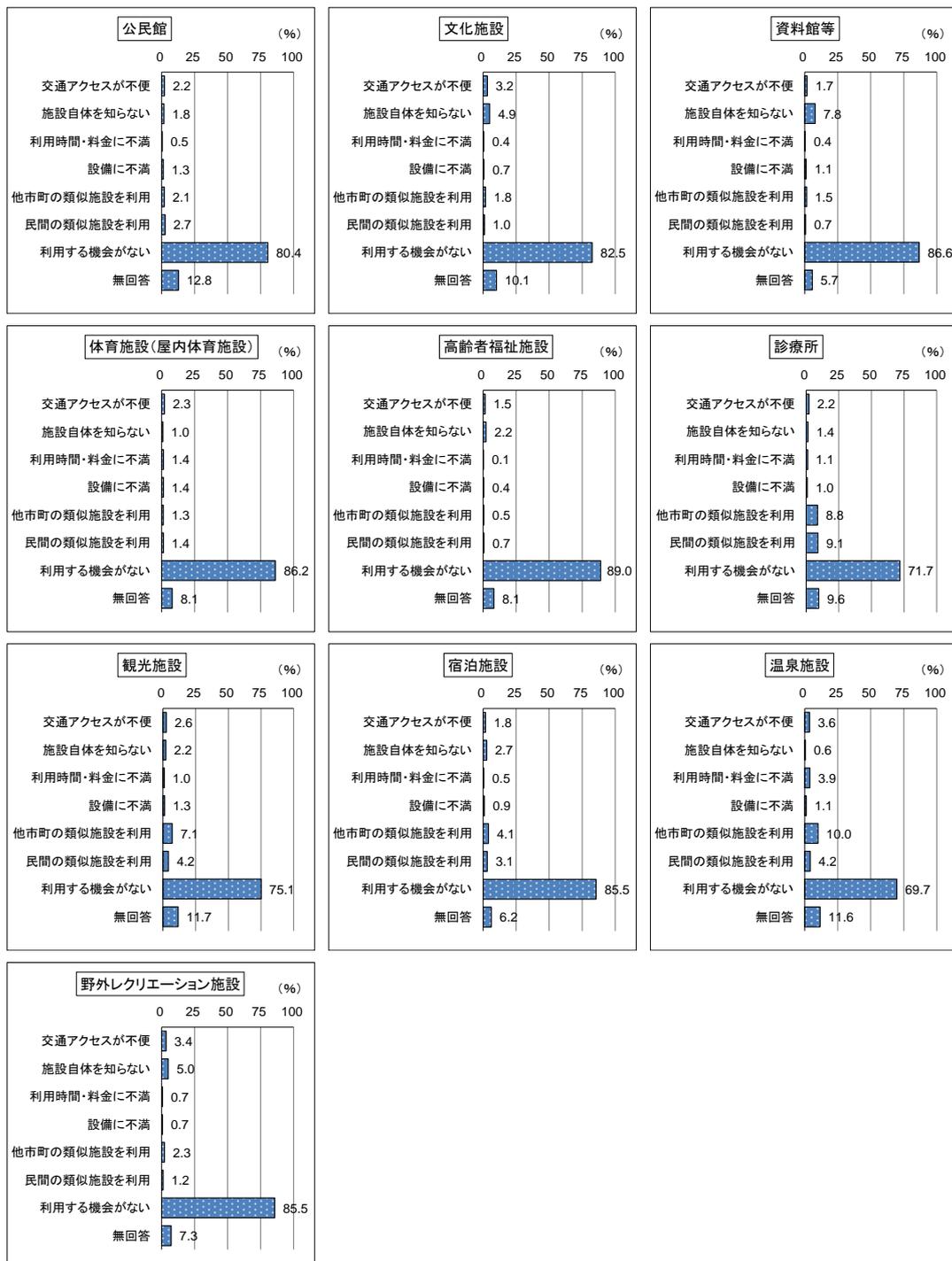


## (2) 公共施設を利用していない理由

問：「利用頻度」で「年に数回程度」または「利用していない」を選択した場合は、その理由を「利用していない理由」から該当するものを全て選び、番号に○印をつけてください。

すべての施設で「利用する機会がない」が突出して高くなっており、「温泉施設」で6割以上、「診療所」や「観光施設」で7割以上、その他の施設で8割以上を占めています。

図表 3.5 公共施設を利用していない理由



### (3) 日常生活における生活サービス機能の充足状況

問：あなたの日常生活において、暮らしを支える「機能」の現状をどのようにお考えですか。以下に示す機能ごとに、あなたの考えに近いものを「満足度」から1つ選び、番号に○印をつけてください。

#### ア 町全体

いずれの機能についても「普通」が最も高くなっています。

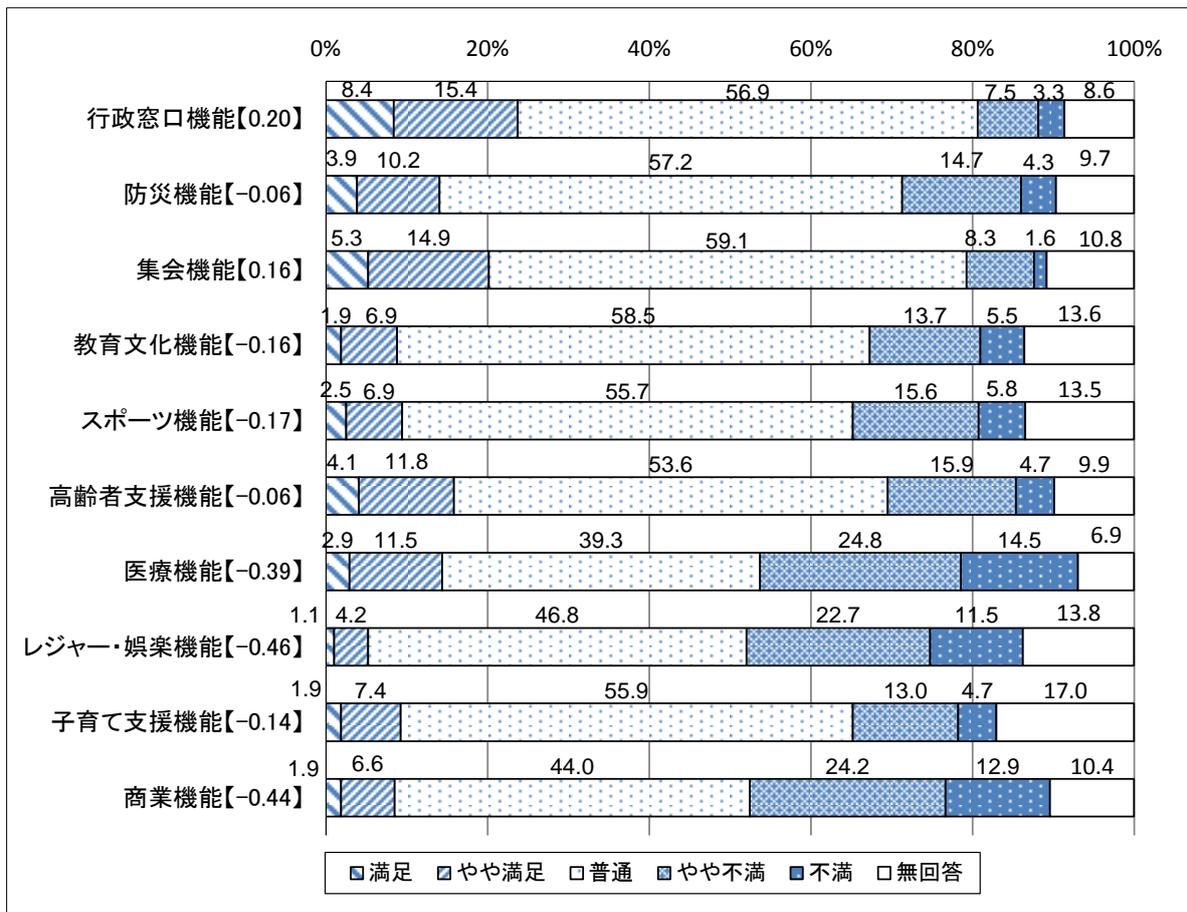
「行政窓口機能」（満足度の評価点 0.20 点、以下同じ。）や「集会機能」（0.16 点）については満足度が比較的高い一方、「医療機能」（-0.39 点）、「商業機能」（-0.44 点）、「レジャー・娯楽機能」（-0.46 点）については、「不満」と「やや不満」の合計が3割以上を占めており、満足度が低くなっています。

#### ■ 満足度の評価方法

各機能の満足度を評価するため、「満足」、「やや満足」、「普通」、「やや不満」、「不満」の回答者数の得点付けを行いました。

満足度の評価点 = (満足 × 2 点 + やや満足 × 1 点 + 普通 × 0 点 - やや不満 × 1 点 - 不満 × 2 点) ÷ (回答者数 - 無回答)

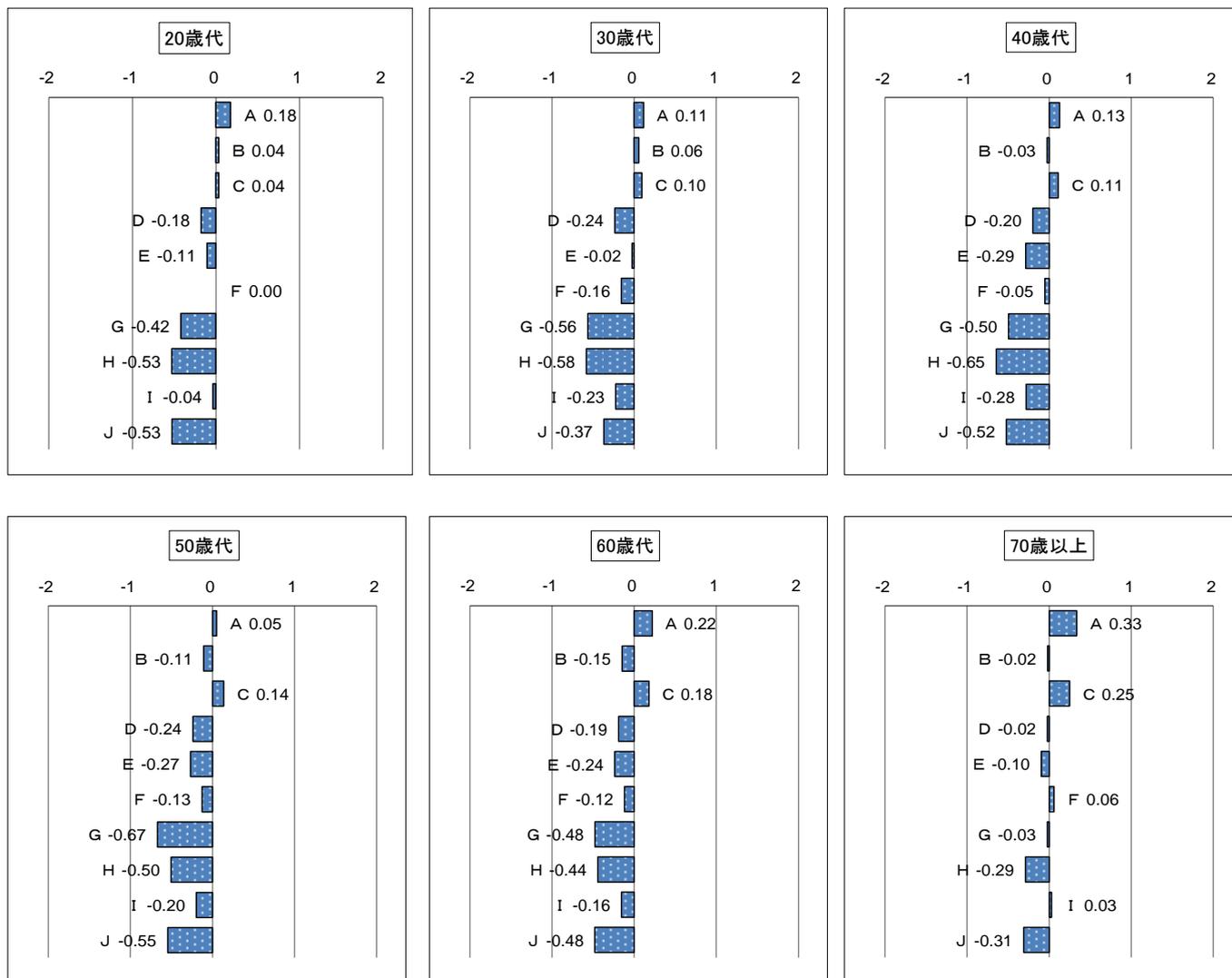
図表 3.6 生活サービス機能の充足状況



## イ 年齢別

70歳未満の世代において、町全体の傾向と同様に「行政窓口機能」、「集会機能」の満足度が高く、「医療機能」、「レジャー・娯楽機能」、「商業機能」の満足度は低くなっています。70歳以上の世代では、「医療機能」よりも「スポーツ機能」の満足度が低くなっています。

図表 3.7 年齢別 生活サービス機能の充足状況（評価点）

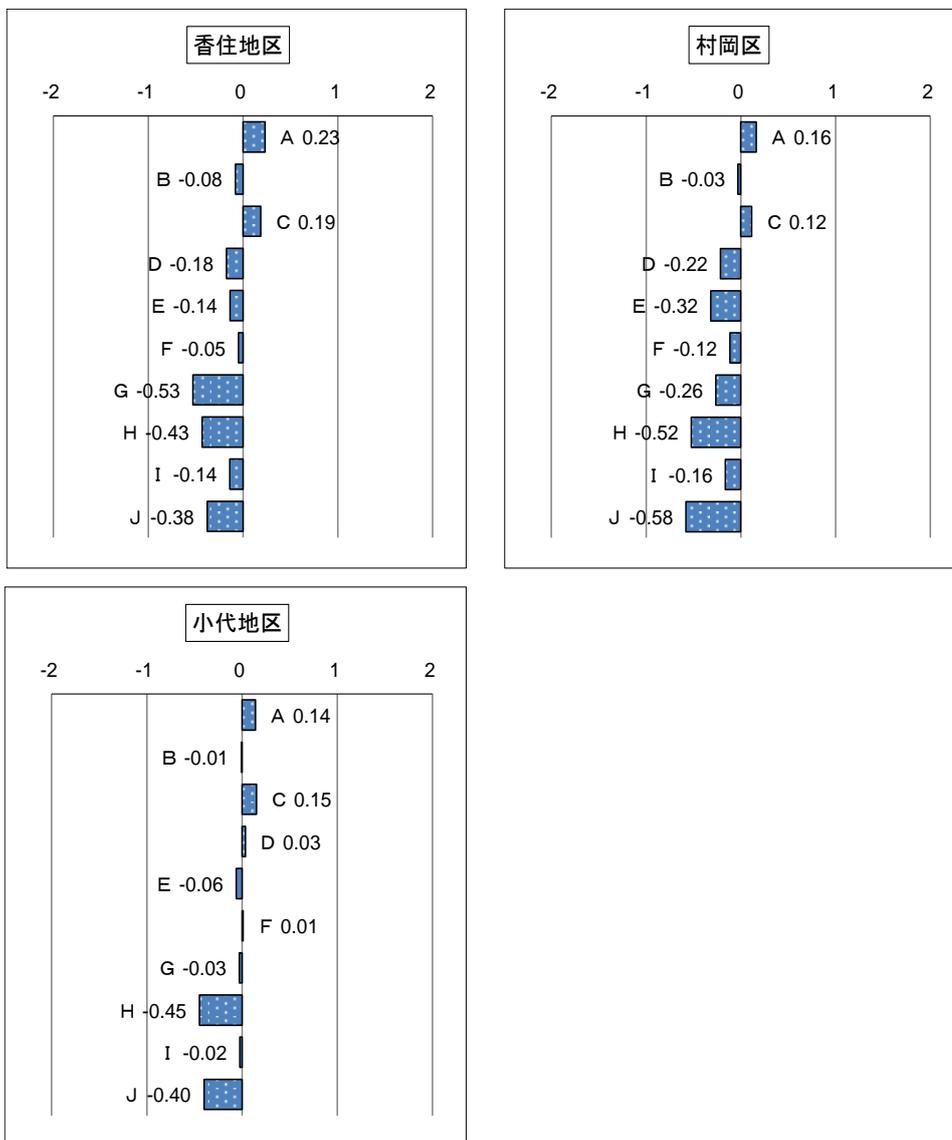


A	行政窓口機能	F	高齢者支援機能
B	防災機能	G	医療機能
C	集会機能	H	レジャー・娯楽機能
D	教育文化機能	I	子育て支援機能
E	スポーツ機能	J	商業機能

## ウ 地域別

すべての地域において、町全体の傾向と同様に「行政窓口機能」と「集会機能」の満足度が比較的高くなっています。香住区では「医療機能」が-0.53点と最も満足度が低くなっています。村岡区では「商業機能」が-0.58点と最も低く、小代地区では「レジャー・娯楽機能」が-0.45点と最も低くなっています。

図表 3.8 地域別 生活サービス機能の充足状況（評価点）



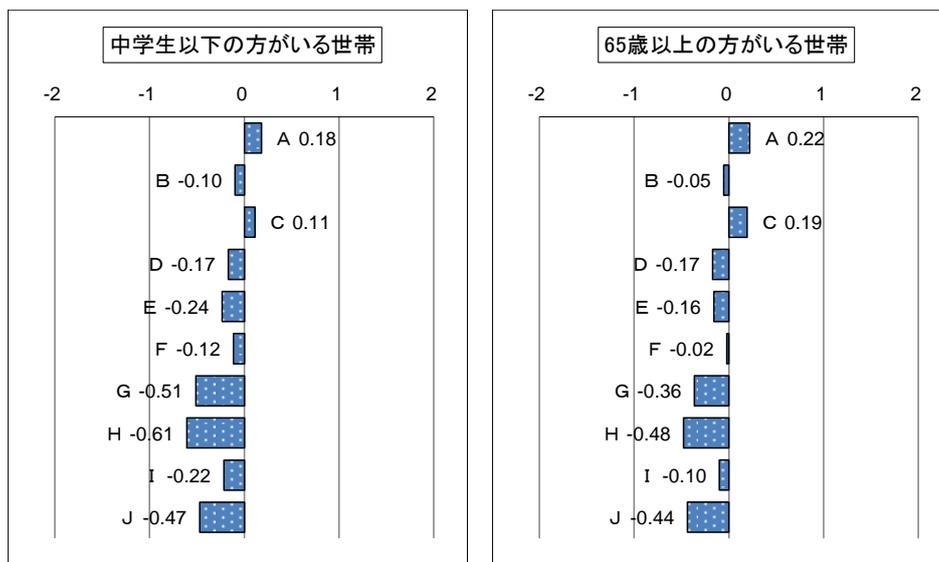
A	行政窓口機能	F	高齢者支援機能
B	防災機能	G	医療機能
C	集会機能	H	レジャー・娯楽機能
D	教育文化機能	I	子育て支援機能
E	スポーツ機能	J	商業機能

## エ 家族構成別

中学生以下の方がいる世帯では、「レジャー・娯楽機能」(-0.61点)、「医療機能」(-0.51点)、「商業機能」(-0.47点)の満足度が低くなっています。

65歳以上の方がいる世帯でも「レジャー・娯楽機能」(-0.48点)、「商業機能」(-0.44点)、「医療機能」(-0.36点)の満足度が低くなっています。

図表 3.9 家族構成別 生活サービス機能の充足状況(評価)



A	行政窓口機能	F	高齢者支援機能
B	防災機能	G	医療機能
C	集会機能	H	レジャー・娯楽機能
D	教育文化機能	I	子育て支援機能
E	スポーツ機能	J	商業機能

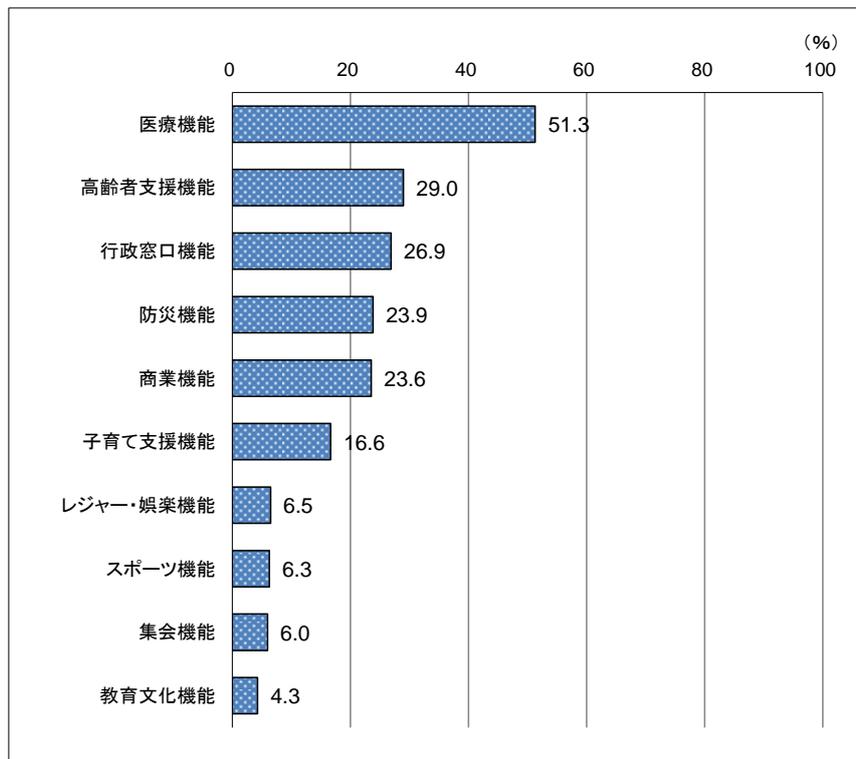
#### (4) 日常生活において優先的に維持・確保すべき機能

問: あなたの日常生活において、暮らしやすい環境や活力を維持していくために、今後とも優先的に維持・確保すべき機能は、どのような機能ですか。該当するものを3つまで選び、「日常生活において優先的に維持・確保すべき機能」の欄に○印をつけてください。

##### ア 町全体

「医療機能」が51.3%と最も高く、次いで「高齢者支援機能」が29.0%、「行政窓口機能」が26.9%、「防災機能」が23.9%、「商業機能」が23.6%等となっています。

図表 3.10 優先的に維持・確保すべき機能



## イ 年齢別

すべての世代において「医療機能」が最も高くなっています。

2番目に高い機能としては、20歳代・50歳代・70歳以上は「高齢者支援機能」、40歳代・60歳代は「行政窓口機能」、30歳代は「子育て支援機能」が高くなっています。

図表 3.11 年齢別 優先的に維持・確保すべき機能

	行政窓口機能	防災機能	集会機能	教育文化機能	スポーツ機能	高齢者支援機能	医療機能	レジャー・娯楽機能	子育て支援機能	商業機能
20歳代	27.6%	20.7%	5.2%	8.6%	22.4%	29.3%	60.3%	19.0%	25.9%	22.4%
30歳代	28.4%	21.6%	6.8%	10.2%	8.0%	22.7%	55.7%	11.4%	40.9%	36.4%
40歳代	34.2%	28.9%	4.4%	7.0%	12.3%	19.3%	64.0%	8.8%	33.3%	24.6%
50歳代	30.4%	27.0%	7.4%	5.4%	2.0%	34.5%	62.8%	5.4%	16.2%	26.4%
60歳代	32.4%	30.3%	5.5%	2.5%	5.0%	31.9%	57.6%	4.2%	10.5%	27.7%
70歳以上	18.9%	16.7%	5.7%	1.8%	2.8%	28.8%	34.2%	3.9%	6.0%	15.3%
全体	26.9%	23.9%	6.0%	4.3%	6.3%	29.0%	51.3%	6.5%	16.6%	23.6%

## ウ 地域別

すべての地域において「医療機能」が最も高くなっており、次いで「高齢者支援機能」が高くなっています。

図表 3.12 地域別 優先的に維持・確保すべき機能

	行政窓口機能	防災機能	集会機能	教育文化機能	スポーツ機能	高齢者支援機能	医療機能	レジャー・娯楽機能	子育て支援機能	商業機能
香住区	26.0%	25.0%	4.2%	5.7%	5.9%	27.6%	54.9%	7.2%	20.1%	25.0%
村岡区	31.4%	21.6%	8.7%	3.1%	7.0%	32.4%	50.5%	7.0%	12.9%	25.1%
小代地区	23.6%	24.5%	6.6%	0.9%	5.7%	26.4%	40.6%	1.9%	10.4%	13.2%
全体	26.9%	23.9%	6.0%	4.3%	6.3%	29.0%	51.3%	6.5%	16.6%	23.6%

## エ 家族構成別

中学生以下の方がいる世帯、65歳以上の方がいる世帯ともに「医療機能」が最も高くなっています。

次いで、中学生以下の方がいる世帯では、「子育て支援機能」が32.2%と大きく、65歳以上の方がいる世帯では、「高齢者支援機能」が31.1%と大きくなっています。

図表 3.13 家族構成別 優先的に維持・確保すべき機能

	行政窓口機能	防災機能	集会機能	教育文化機能	スポーツ機能	高齢者支援機能	医療機能	レジャー・娯楽機能	子育て支援機能	商業機能
中学生以下の方がいる世帯	29.1%	27.1%	6.0%	8.0%	10.6%	23.1%	58.3%	11.1%	32.2%	25.1%
65歳以上の方がいる世帯	27.7%	24.5%	6.4%	4.3%	5.6%	31.1%	52.9%	6.6%	17.0%	23.1%
全体	28.0%	25.2%	6.3%	5.2%	6.8%	29.2%	54.2%	7.7%	20.7%	23.6%

## (5) 公共施設の更新問題の関心度

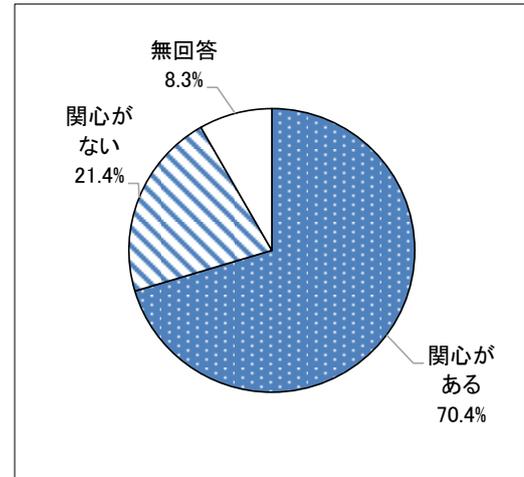
問：公共施設等の老朽化が全国的な社会問題となっています。  
 本町の公共施設も同様に老朽化が進んでおり、今後、これらの建替えなどに多くの財政負担を伴うことが予測されています。このような公共施設の更新問題に関心をお持ちですか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

### ア 町全体

公共施設の更新問題に「関心がある」は70.4%となっています。

一方、「関心がない」は21.4%となっています。

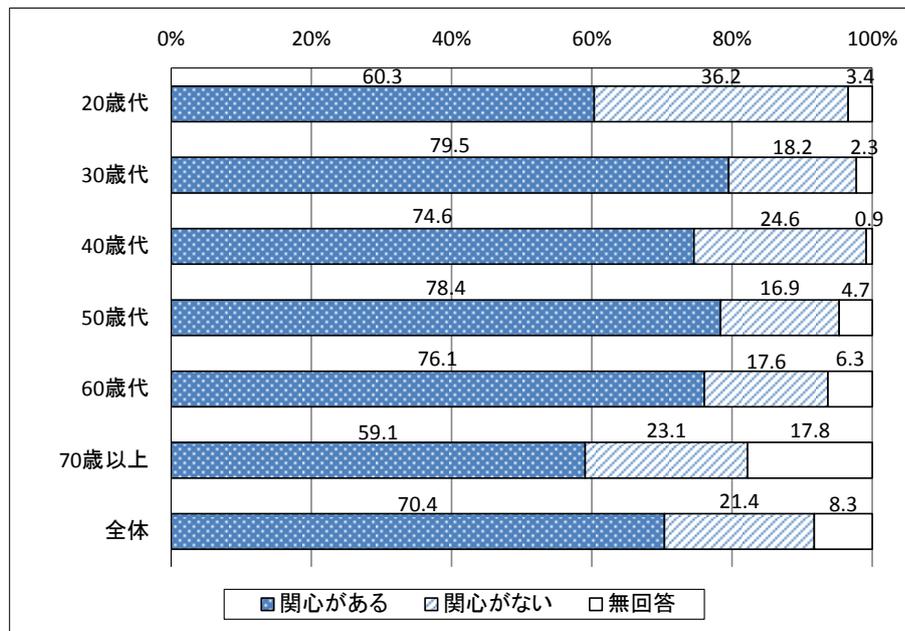
図表 3.14 公共施設の更新問題の関心度



### イ 年齢別

30歳代から60歳代にかけて「関心がある」と答えた人の割合は高くなっています。一方で、20歳代は「関心がない」と答えた人が36.2%と最も高くなっています。

図表 3.15 年齢別 公共施設の更新問題の関心度



## (6) 公共施設の整備（総量見直し）のあり方

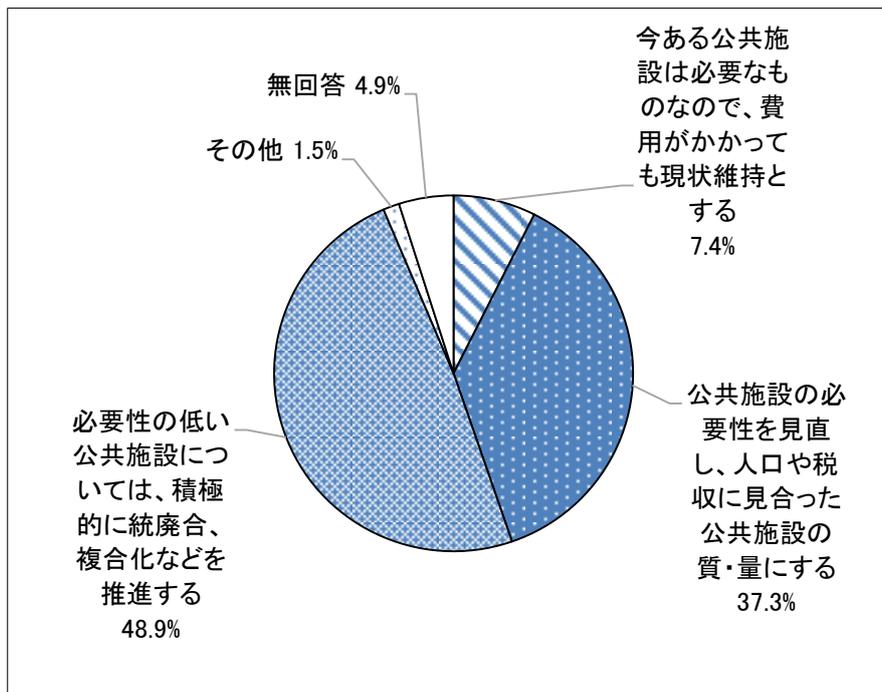
問：本町では、合併前の旧町時代も含め、様々な公共施設を整備してきましたが、少子高齢化等の進展により人口と税収の減少が見込まれる中、すべての公共施設を適切に維持していくことが難しくなると考えられます。今後の公共施設の整備の方向性について、あなたの考えに近いものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

### ア 町全体

「必要性の低い公共施設については、積極的に統廃合、複合化などを推進する」が48.9%と最も多く、次いで「公共施設の必要性を見直し、人口や税収に見合った公共施設の質・量にする」が37.3%となっており、総量の見直しを進めるべきとする回答が8割以上を占めています。

一方、「今ある公共施設は必要なものなので、費用がかかっても現状維持とする」は7.4%となっています。

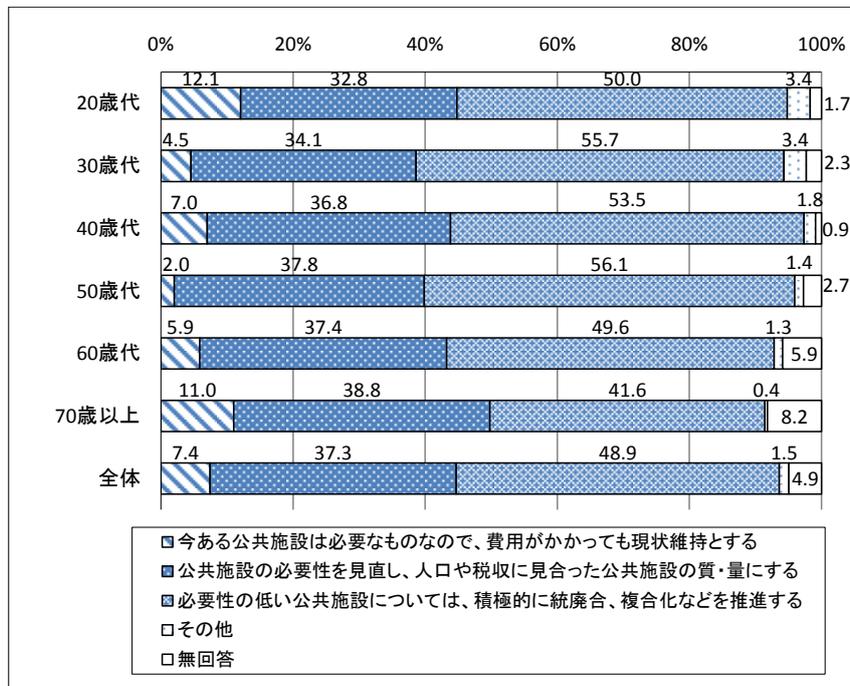
図表 3.16 公共施設の整備（総量見直し）のあり方



## イ 年齢別

すべての世代において、「公共施設の必要性を見直し、人口や税収に見合った公共施設の質・量にする」と「必要性の低い公共施設については、積極的に統廃合、複合化などを推進する」をあわせた総量の見直しを進めるべきとする回答が8割以上となっており、特に40歳代や50歳代では9割以上を占めています。

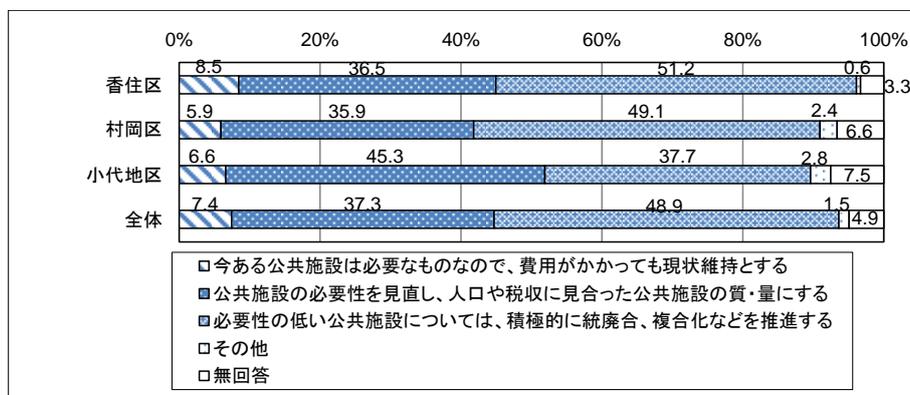
図表 3.17 年齢別 公共施設の整備（総量見直し）のあり方



## ウ 地域別

すべての地域において、「公共施設の必要性を見直し、人口や税収に見合った公共施設の質・量にする」と「必要性の低い公共施設については、積極的に統廃合、複合化などを推進する」をあわせた総量の見直しを進めるべきとする回答が8割以上となっています。

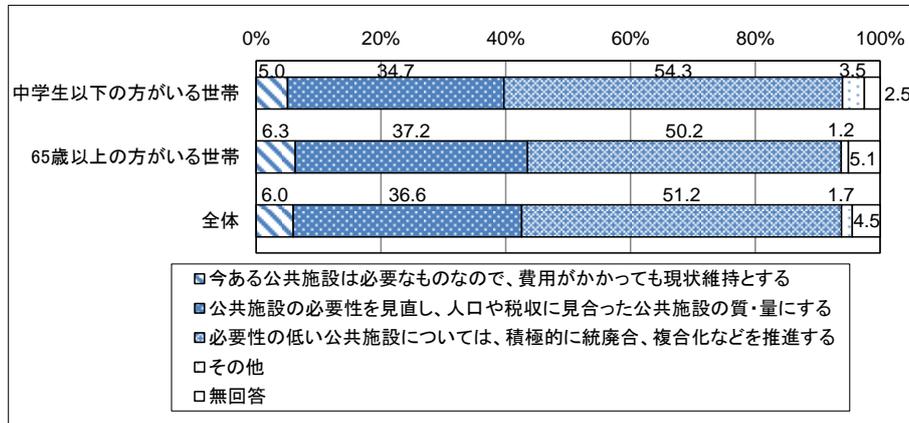
図表 3.18 地域別 公共施設の整備（総量見直し）のあり方



## エ 家族構成別

中学生以下の方がいる世帯、65歳以上の方がいる世帯ともに「公共施設の必要性を見直し、人口や税収に見合った公共施設の質・量にする」と「必要性の低い公共施設については、積極的に統廃合、複合化などを推進する」をあわせた総量の見直しを進めるべきとする回答が8割以上となっています。

図表 3.19 家族構成別 公共施設の整備（総量見直し）のあり方



## (7) 公共施設の更新費用の負担を減らす方策

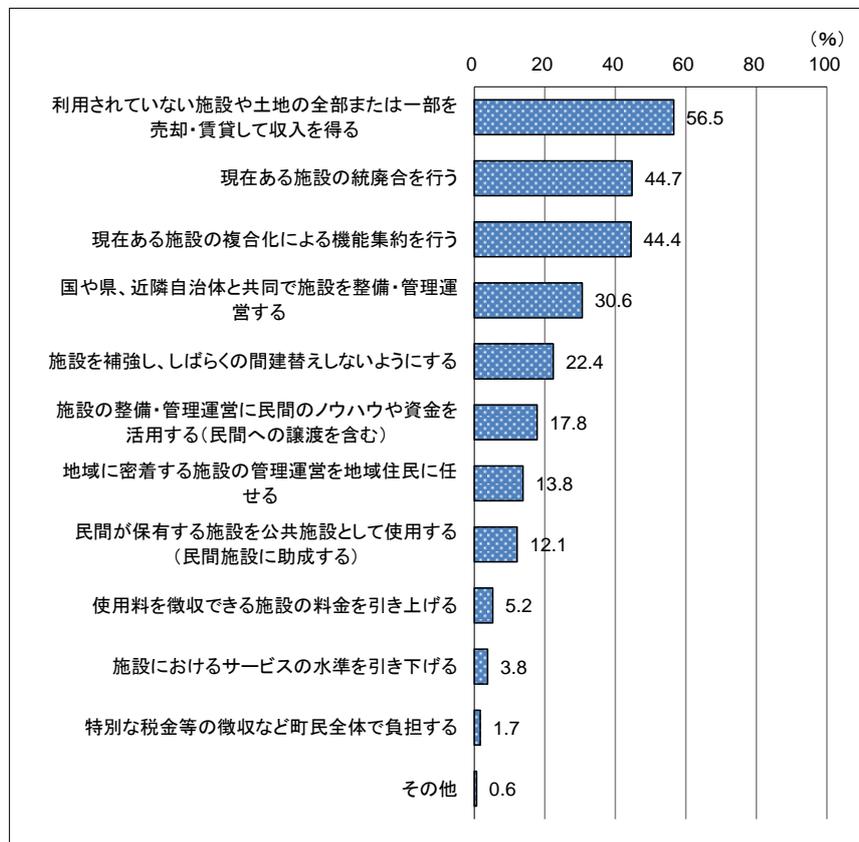
問：公共施設を適切に維持していくためには、公共施設の更新や維持管理にかかる費用の負担を減らしていく必要があります。そのために積極的に実施すべき取組として、あなたの考えに近いものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

### ア 町全体

「利用されていない施設や土地の全部または一部を売却・賃貸して収入を得る」が56.5%と最も高く、次いで「現在ある施設の統廃合を行う」が44.7%、「現在ある施設の複合化による機能集約を行う」が44.4%、「国や県、近隣自治体と共同で施設を整備・管理運営する」が30.6%等となっています。

一方で、「特別な税金等の徴収など町民全体で負担する」や「施設におけるサービスの水準を引き下げる」は、それぞれ1.7%、3.8%と低くなっています。

図表 3.20 公共施設の更新費用の負担を減らす方策



### イ 年齢別

30歳代以外の世代では、「利用されていない施設や土地の全部または一部を売却・賃貸して収入を得る」が最も高く、次いで「現在ある施設の複合化による機能集約を行う」や「現在ある施設の統廃合を行う」等が上位を占めています。

30歳代では、「現在ある施設の複合化による機能集約を行う」が最も高く、次いで「利用されていない施設や土地の全部または一部を売却・賃貸して収入を得る」が高くなっています。

図表 3.21 年齢別 公共施設の更新費用の負担を減らす方策

	施設を補強し、しばらくの間 建替えしないようにする	現在ある施設の複合化による 機能集約を行う	現在ある施設の統廃合を行う	国や県、近隣自治体と共同で 施設を整備・管理運営する	民間が保有する施設を公共 施設として使用する (民間施設に助成する)	地域に密着する施設の管理 運営を地域住民に任せる	施設の整備・管理運営に民間の ノウハウや資金を活用する (民間への譲渡を含む)	施設におけるサービスの水準 を引き下げる	利用されていない施設や土地 の全部または一部を売却・賃貸 して収入を得る	特別な税金等の徴収など町民 全体で負担する	使用料を徴収できる施設の 料金を引き上げる	その他
20歳代	19.0%	41.4%	37.9%	41.4%	19.0%	13.8%	22.4%	6.9%	44.8%	0.0%	3.4%	1.7%
30歳代	14.8%	55.7%	50.0%	33.0%	18.2%	11.4%	19.3%	2.3%	51.1%	2.3%	4.5%	2.3%
40歳代	16.7%	45.6%	47.4%	34.2%	17.5%	16.7%	20.2%	3.5%	52.6%	1.8%	4.4%	0.9%
50歳代	15.5%	51.4%	52.0%	23.6%	12.2%	10.8%	20.3%	3.4%	66.9%	0.7%	8.1%	0.0%
60歳代	22.7%	49.6%	44.1%	29.0%	10.1%	16.8%	22.7%	5.0%	58.4%	1.3%	5.0%	0.4%
70歳以上	28.8%	34.9%	42.3%	29.9%	9.3%	13.2%	10.7%	2.1%	55.5%	1.8%	4.6%	0.4%
全体	22.4%	44.4%	44.7%	30.6%	12.1%	13.8%	17.8%	3.8%	56.5%	1.7%	5.2%	0.6%

### ウ 地域別

すべての地域で「利用されていない施設や土地の全部または一部を売却・賃貸して収入を得る」が最も高くなっています。香住区と小代区では次いで「現在ある施設の複合化による機能集約を行う」が高く、村岡区では「現在ある施設の統廃合を行う」が5割以上となっています。

図表 3.22 地域別 公共施設の更新費用の負担を減らす方策

	施設を補強し、しばらくの間 建替えしないようにする	現在ある施設の複合化による 機能集約を行う	現在ある施設の統廃合を行う	国や県、近隣自治体と共同で 施設を整備・管理運営する	民間が保有する施設を公共 施設として使用する (民間施設に助成する)	地域に密着する施設の管理 運営を地域住民に任せる	施設の整備・管理運営に民間の ノウハウや資金を活用する (民間への譲渡を含む)	施設におけるサービスの水準 を引き下げる	利用されていない施設や土地 の全部または一部を売却・賃貸 して収入を得る	特別な税金等の徴収など町民 全体で負担する	使用料を徴収できる施設の 料金を引き上げる	その他
香住区	20.3%	46.4%	44.2%	30.2%	12.0%	14.0%	18.2%	3.5%	58.9%	1.5%	6.3%	0.6%
村岡区	22.6%	42.5%	50.9%	30.0%	11.5%	12.5%	18.5%	3.1%	54.7%	2.1%	4.2%	0.7%
小代区	31.1%	41.5%	34.0%	34.0%	15.1%	17.9%	16.0%	6.6%	49.1%	0.0%	2.8%	0.9%
全体	22.4%	44.4%	44.7%	30.6%	12.1%	13.8%	17.8%	3.8%	56.5%	1.7%	5.2%	0.6%

## エ 家族構成別

中学生以下の方がいる世帯、65歳以上の方がいる世帯ともに「利用されていない施設や土地の全部または一部を売却・賃貸して収入を得る」が最も高く、半数以上を占めています。次いで高いのは、「現在ある施設の統廃合を行う」となっています。

図表 3.23 家族構成別 公共施設の更新費用の負担を減らす方策

	施設を補強し、しばらくの間 建替えしないようにする	現在ある施設の複合化による 機能集約を行う	現在ある施設の統廃合を行う	国や県、近隣自治体と共同で 施設を整備・管理運営する	民間が保有する施設を公共 施設として使用する (民間施設に助成する)	地域に密着する施設の管理 運営を地域住民に任せる	施設の整備・管理運営に民間の ノウハウや資金を活用する (民間への譲渡を含む)	施設におけるサービスの水準 を引き下げる	利用されていない施設や土地 の全部または一部を売却・賃貸 して収入を得る	特別な税金等の徴収など町民 全体で負担する	使用料を徴収できる施設の 料金を引き上げる	その他
中学生以下の方がいる世帯	16.6%	49.2%	49.7%	34.2%	14.6%	14.1%	18.6%	4.0%	56.8%	0.5%	4.0%	1.0%
65歳以上の方がいる世帯	21.4%	43.3%	46.1%	30.1%	11.2%	16.0%	18.6%	4.0%	56.7%	1.6%	5.9%	0.5%
全体	20.2%	44.8%	47.0%	31.1%	12.0%	15.5%	18.6%	4.0%	56.7%	1.4%	5.5%	0.6%

## (8) 優先的に見直すべき公共施設

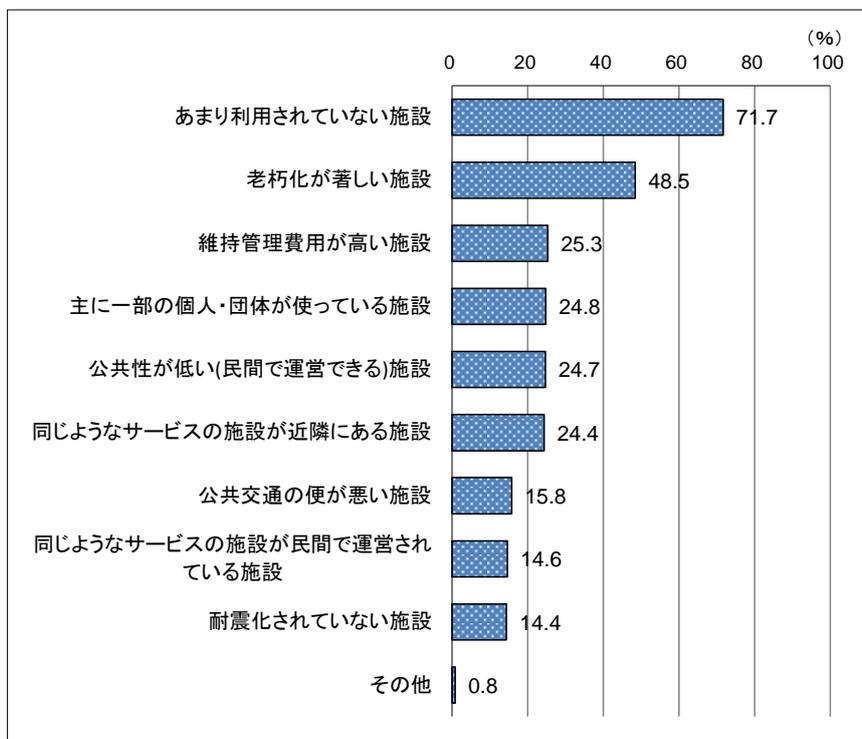
問：将来的に公共施設を見直すとしたら、どのような施設を優先して見直していくべきとお考えですか。あなたの考えに近いものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

### ア 町全体

「あまり利用されていない施設」が71.7%と最も高く、次いで「老朽化が著しい施設」が48.5%、「維持管理費用が高い施設」が25.3%、「主に一部の個人・団体が使っている施設」が24.8%等となっています。

一方で、「同じようなサービスの施設が民間で運営されている施設」や「耐震化されていない施設」は、それぞれ14.6%、14.4%と低くなっています。

図表 3.24 優先的に見直すべき公共施設



## イ 年齢別

すべての世代で「あまり利用されていない施設」が最も高く、特に50歳代では8割以上、30歳代、40歳代、60歳代では7割以上を占めています。次いで「老朽化が著しい施設」が高くなっています。

図表 3.25 年齢別 優先的に見直すべき公共施設

	あまり利用されていない施設	主に一部の個人・団体が使っている施設	公共性が低い(民間で運営できる)施設	老朽化が著しい施設	維持管理費用が高い施設	耐震化されていない施設	同じようなサービスの施設が近隣にある施設	同じようなサービスの施設が民間で運営されている施設	公共交通の便が悪い施設	その他
20歳代	62.1%	17.2%	29.3%	50.0%	27.6%	10.3%	31.0%	8.6%	15.5%	1.7%
30歳代	75.0%	26.1%	26.1%	48.9%	29.5%	14.8%	30.7%	11.4%	15.9%	1.1%
40歳代	73.7%	21.1%	25.4%	50.9%	28.9%	18.4%	26.3%	15.8%	9.6%	0.9%
50歳代	81.1%	27.7%	25.7%	45.9%	23.6%	10.8%	26.4%	16.2%	13.5%	1.4%
60歳代	76.9%	33.2%	29.4%	52.5%	25.6%	15.5%	25.6%	17.2%	13.0%	0.0%
70歳以上	64.4%	19.2%	19.6%	45.9%	23.5%	14.6%	18.9%	12.5%	22.1%	1.1%
全体	71.7%	24.9%	24.8%	48.3%	25.3%	14.3%	24.3%	14.6%	15.8%	0.8%

## ウ 地域別

すべての地域で「あまり利用されていない施設」が最も高く、次いで「老朽化が著しい施設」が高くなっています。

図表 3.26 地域別 優先的に見直すべき公共施設

	あまり利用されていない施設	主に一部の個人・団体が使っている施設	公共性が低い(民間で運営できる)施設	老朽化が著しい施設	維持管理費用が高い施設	耐震化されていない施設	同じようなサービスの施設が近隣にある施設	同じようなサービスの施設が民間で運営されている施設	公共交通の便が悪い施設	その他
香住区	73.1%	25.2%	26.0%	48.1%	26.2%	15.1%	23.4%	13.1%	16.09%	0.9%
村岡区	70.7%	23.7%	25.4%	45.3%	25.1%	13.6%	28.2%	16.7%	15.3%	1.0%
小代地区	71.7%	24.5%	18.9%	59.4%	22.6%	14.2%	19.8%	16.0%	18.9%	0.0%
全体	71.7%	24.9%	24.8%	48.3%	25.3%	14.3%	24.3%	14.6%	15.8%	0.8%

## エ 家族構成別

中学生以下の方がいる世帯、65歳以上の方がいる世帯ともに「あまり利用されていない施設」が最も高く、次いで「老朽化が著しい施設」が高くなっています。

図表 3.27 家族構成別 優先的に見直すべき公共施設

	あまり利用されていない施設	主に一部の個人・団体が使っている施設	公共性が低い (民間で運営でき)施設	老朽化が著しい施設	維持管理費用が高い施設	耐震化されていない施設	同じようなサービスの施設が 近隣にある施設	同じようなサービスの施設が 民間で運営されている施設	公共交通の便が悪い施設	その他
中学生以下の方がいる世帯	73.9%	23.6%	29.6%	50.8%	23.1%	15.6%	28.1%	16.6%	14.1%	0.5%
65歳以上の方がいる世帯	71.7%	24.5%	25.9%	49.9%	24.1%	14.7%	23.7%	15.2%	16.3%	0.5%
全体	72.2%	24.3%	26.8%	50.1%	23.8%	14.9%	24.8%	15.5%	15.8%	0.5%

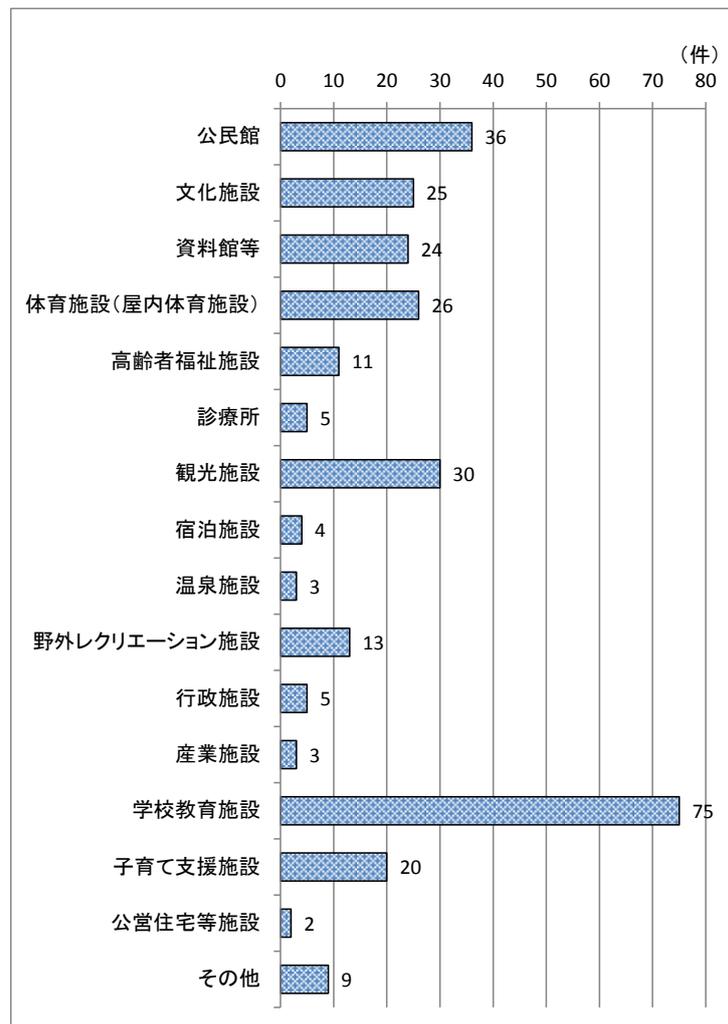
### (9) 統廃合または複合化を行なってもよいと考える施設

問：今後、統廃合または複合化を行なってもよいと考える施設があれば、具体的な施設名とその理由を記入して下さい。

統廃合または複合化を行なってもよいと考える公共施設について自由記述方式で尋ねたところ、291件の回答がありました。

特に、「学校教育施設」(75件)や「公民館」(36件)、「観光施設」(30件)が多くなっており、「学校教育施設」では少子化による生徒数の減少、「観光施設」では利用度の低さ等が主な理由となっています。

図表 3.28 統廃合または複合化を行なってもよい公共施設



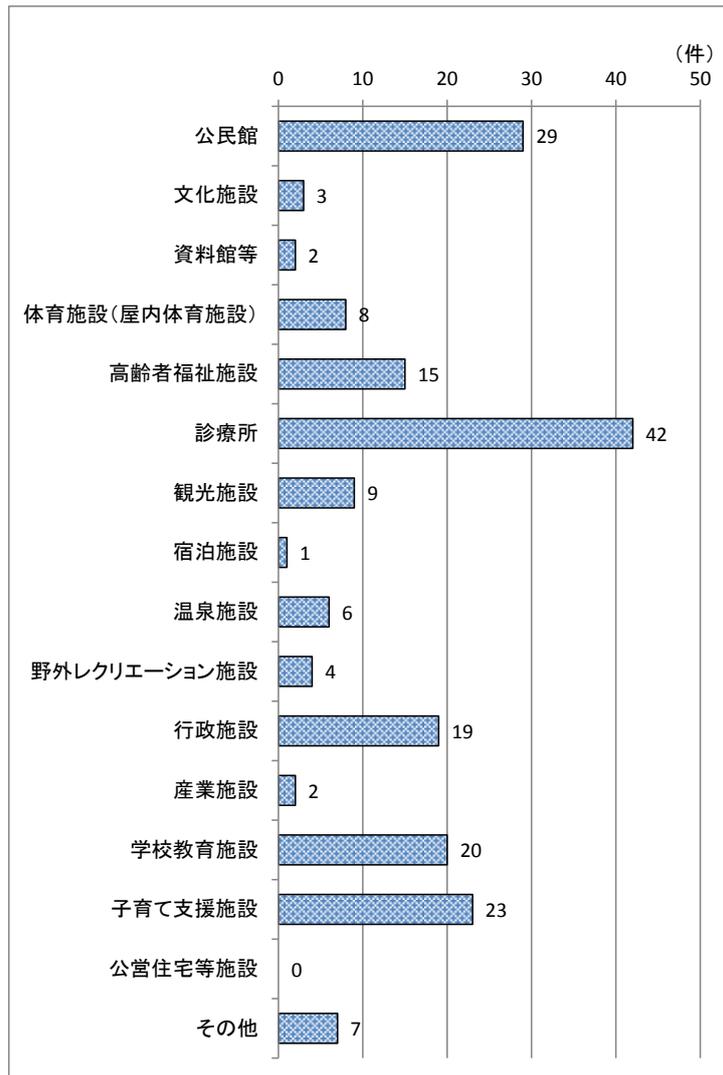
## (10) 統廃合または複合化を行うべきではないと考える施設

問：今後、統廃合または複合化を行うべきではないと考える施設があれば、具体的な施設名とその理由を記入して下さい。

統廃合または複合化を行うべきではないと考える公共施設について自由記述方式で尋ねたところ、190件の回答がありました。

特に、「診療所」(42件)や「公民館」(29件)、「子育て支援施設」(23件)が多くなっており、「診療所」では高齢化に伴う高齢者の増加が主な理由となっています。

図表 3.29 統廃合または複合化を行うべきではない公共施設



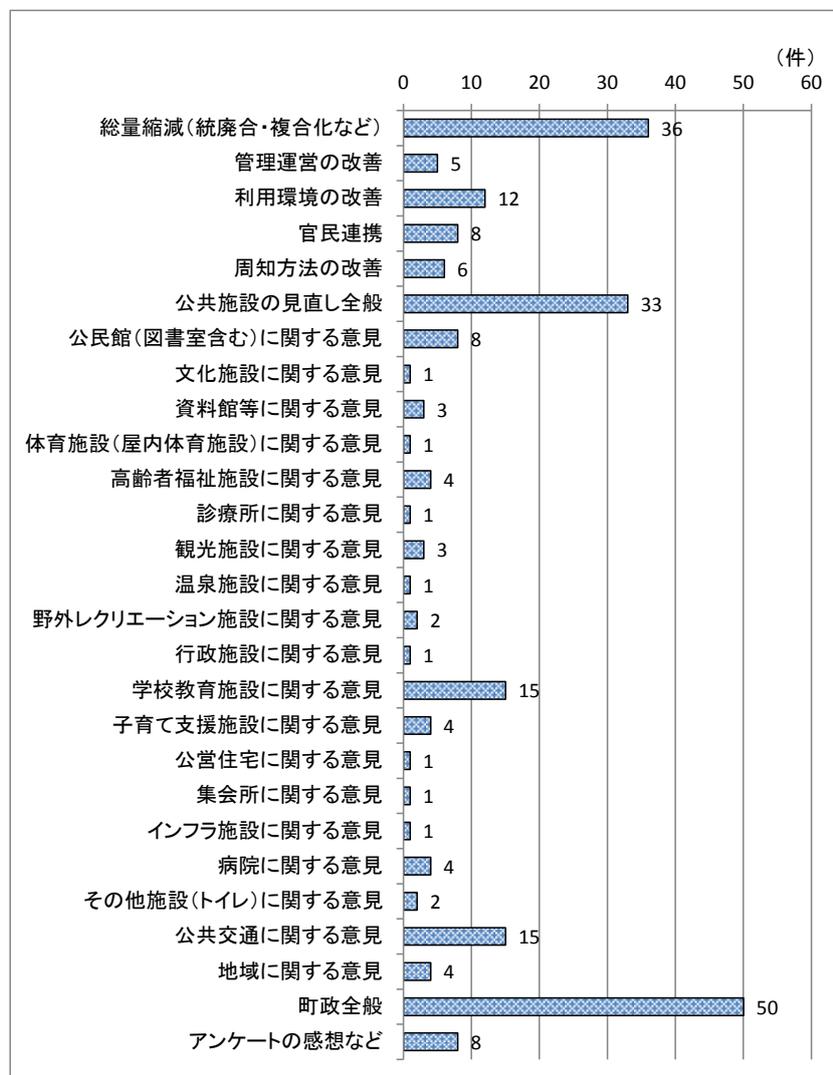
## (11) 公共施設の現状や将来のあり方についての自由意見

問：本町の公共施設の現状や将来のあり方について、ご意見がございましたら、ご自由に記入して下さい。

公共施設の現状や将来のあり方について自由記述方式で尋ねたところ、230件の回答がありました。その内訳は、公共施設の見直しに関する意見として「総量縮減（統廃合・複合化など）」が36件と最も多く、次いで「公共施設の見直し全般」が33件となっています。

また、個別施設については、「学校教育施設に関する意見」が15件と最も多く、次いで「公民館（図書室含む）に関する意見」が8件となっています。

図表 3.30 公共施設の現状や将来のあり方についての意見



## 4 調査票

### (1) 調査票

# 香美町「公共施設」に関する町民アンケート みなさんのご意見をお聞かせください！

町民の皆様には、日頃から町政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。ご意見を伺います。

本町では、これまで多様化する町民の皆様のニーズに対応するため、多くの公共施設を整備してきました。

しかし、公共施設の老朽化が進み、大規模な改修や建替えが必要となる中、人口減少、少子高齢化の進行による人口構成の変化や厳しい財政状況により、全ての施設を建替えることは困難であり、今後の公共施設の適正な管理運営に向けたあり方の検討に取り組む必要があると考えています。

このような背景を踏まえ、本町では今後も町民の皆様のニーズに対応し、公共施設サービスの維持・向上を図るため、公共施設等総合管理計画の策定に取り組んでいます。昨年度は、その基礎資料として、公共施設の現状を示した公共施設白書を作成しました。(町ホームページに掲載(閲覧用として役場総務課・各地域局地域総務係にも置いています。))

そのような中、これからの公共施設のあり方について、町民の皆様のお考えを把握するため、アンケート調査を実施することといたしました。

お忙しいところ恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力ください。よろしくお願いいたします。

平成28年5月

香美町長 浜上 勇人

#### ◆ 記入にあたってのお願い

- ・このアンケートは、あて名のご本人様がお答えください。ご本人様の記入が難しい場合は、ご家族様や介助者様の代筆で回答をお願いします。

#### ◆ アンケートの回収について

- ・勝手ながら集計の都合上、回答後のアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、**6月8日(水)までにポストに投かん**してください。切手は不要です。
- ・アンケート用紙及び返信用封筒には、お名前を記入する必要はありません。

#### ◆ 調査対象

- ・調査は、無作為に抽出した20歳以上の町民2,000人を対象に実施しています。

#### ◆ 問い合わせ先

香美町 総務課 管財係 担当：吉野

電話：0796-36-1111 FAX：0796-36-3809

## 1. あなたご自身についてお尋ねします

問1 次の各項目について、該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

(ア) 性別	1 男性	2 女性
(イ) 年齢	1 20～29歳	2 30～39歳
	3 40～49歳	4 50～59歳
	5 60～69歳	6 70歳以上
(ウ) 家族構成	1 ひとり世帯	2 夫婦のみ世帯
	3 二世帯世帯(親と子)	4 三世帯世帯(親と子と孫)
	5 その他 ( )	
a.中学生以下の方の有無	1 いる	2 いない
b.65歳以上の方の有無	1 いる	2 いない
(エ) お住まいの地域	1 香住地区	2 奥佐津地区
	3 佐津地区	4 柴山地区
	5 長井地区	6 余部地区
	7 村岡地区	8 兎塚地区
	9 射添地区	10 小代地区
(オ) 居住年数	1 5年未満	2 5～9年
	3 10～19年	4 20年以上

問2 日常生活を支える移動手段について、徒歩以外で主なものを2つまで選び、番号に○印をつけてください。

1 自家用車(自分が運転)	2 自家用車(家族などが運転)
3 鉄道	4 路線バス・町民バス
5 タクシー	6 原付・バイク
7 自転車	8 その他 ( )

## 2. 公共施設の利用状況についてお尋ねします

問3 本町には、別紙「主な公共施設の一覧」で示す公共施設があり、様々な行政サービスを提供しています。

過去1年間に町内の公共施設をどのくらい利用しましたか。以下に示す公共施設の種類ごとに「①利用頻度」から該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

また、「①利用頻度」で「3年に数回程度」または「4 利用していない」を選択した場合は、その理由を「②利用していない理由」から該当するものを全て選び、番号に○印をつけてください。

公共施設の種類 1) ~10) について、それぞれお答えください	①利用頻度	②利用していない理由
	1 週に1回以上 2 月に1回以上 3 年に数回程度 4 利用していない	1 交通アクセスが不便 2 施設自体を知らない 3 利用時間、利用料金に不満 4 設備に不満(古い、部屋が小さい等) 5 他市町の類似施設を利用 6 民間の類似施設を利用 7 利用する機会がない
記入例) ○○施設	1 2 <b>③</b> 4	1 <b>②</b> 3 4 <b>⑤</b> 6 7
1) 公民館	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7
2) 文化施設	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7
3) 資料館等	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7
4) 体育施設 (屋内体育施設)	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7
5) 高齢者福祉施設	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7
6) 診療所	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7
7) 観光施設	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7
8) 宿泊施設	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7
9) 温泉施設	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7
10) 野外レクリエーション施設	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7

※それぞれの種類に該当する具体的な公共施設は、別紙「公共施設の一覧」を参照してください。

### 3. 日常生活に必要な生活サービス機能についてお尋ねします

問4 本町には、別紙「主な公共施設の一覧」で示す公共施設があり、様々な行政サービスを提供しています。一方、民間事業者においても、暮らしを支える様々なサービスを提供しています。

あなたの日常生活において、暮らしを支える「機能」の現状をどのようにお考えですか。以下に示す機能ごとに、あなたの考えに近いものを「①満足度」から1つ選び、番号に○印をつけてください。

また、あなたの日常生活において、暮らしやすい環境や活力を維持していくために、今後とも優先的に維持・確保すべき機能は、どのような機能ですか。該当するものを3つまで選び、「②日常生活において優先的に維持・確保すべき機能」の欄に○印をつけてください。

機能 1) ~10) について、それぞれお答えください		①満足度					②日常生活において優先的に維持・確保すべき機能
		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	
記入例) ○○機能（満足度が「やや満足」で「日常生活において優先的に維持・確保すべき機能」と思う場合)		1	②	3	4	5	○
1) 行政窓口機能	行政相談や各種手続きの窓口機能	1	2	3	4	5	
2) 防災機能	災害時における避難所や防災活動に活用する機能	1	2	3	4	5	
3) 集会機能	会議の場やコミュニティ活動等の交流の場に利用できる機能	1	2	3	4	5	
4) 教育文化機能	図書の貸出や美術品、郷土品等を通じて教育・文化を学べる機能	1	2	3	4	5	
5) スポーツ機能	チームや個人でスポーツができる機能	1	2	3	4	5	
6) 高齢者支援機能	介護・生活支援、住まいの確保など高齢者の暮らしを支える機能	1	2	3	4	5	
7) 医療機能	病院・診療所、薬局など病気等の回復・改善を図る機能	1	2	3	4	5	
8) レジャー・娯楽機能	余暇を利用して行う遊びや楽しみを提供する機能	1	2	3	4	5	
9) 子育て支援機能	乳児・幼児・児童の保育や子育て家庭に対する育児支援機能	1	2	3	4	5	
10) 商業機能	日常的な買物や金融等のサービス機能	1	2	3	4	5	

日常生活において優先的に維持・確保すべき機能を3つまで選んで○印を記入

#### 4. 今後の公共施設のあり方についてお尋ねします

※別紙「香美町における公共施設の現状と課題」を読んだ上でお答えください。

問5 平成24年12月に発生した中央自動車道・笹子トンネルの天井板崩落事故に象徴されるように、昭和40～50年代に整備されたインフラ（道路や橋りょうなど）や公共施設が老朽化し、全国的な社会問題となっています。

本町の公共施設も同様に老朽化が進んでおり、今後、これらの建替えなどに多くの財政負担を伴うことが予測されています。このような公共施設の更新問題に関心をお持ちですか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

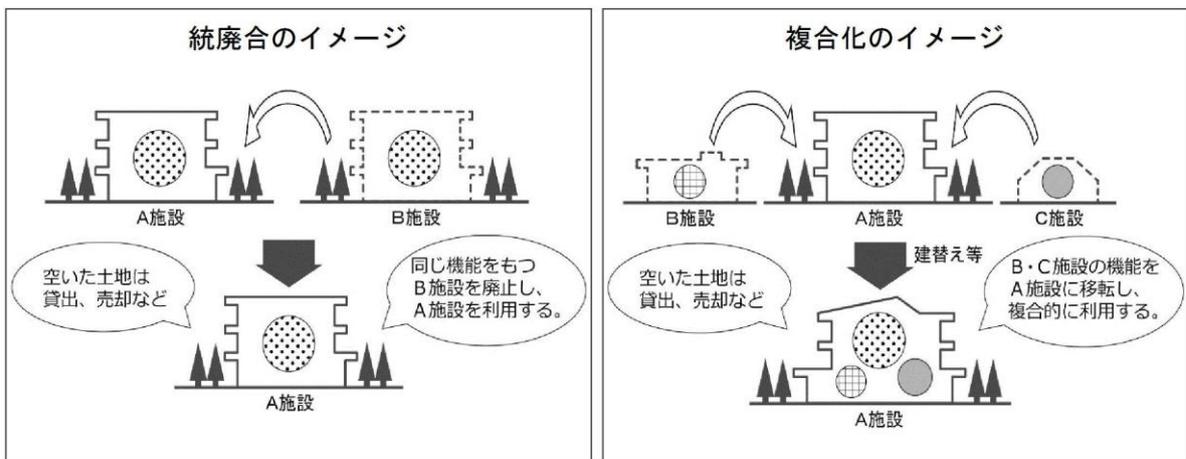
- |      |       |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問6 本町では、合併前の旧町時代も含め、様々な公共施設を整備してきましたが、少子高齢化等の進展により人口と税収の減少が見込まれる中、すべての公共施設を適切に維持していくことが難しくなると考えられます。

今後の公共施設を整備の方向性について、あなたの考えに近いものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |  |
|--|
| 1 今ある公共施設は必要なものなので、費用がかかっても現状維持とする           |
| 2 公共施設の必要性を見直し、人口や税収に見合った公共施設の質・量にする         |
| 3 必要性の低い公共施設については、積極的に統廃合（*1）、複合化（*2）などを推進する |
| 4 その他（ ）                                     |

- \*1 統廃合：同じ機能をもつ施設を一つに統合し、施設数を削減すること。  
 \*2 複合化：異なる機能をもつ施設を一つにまとめて複合的に利用すること。  
 一つの施設で様々なサービスが受けられるなどのメリットがある。



問7 公共施設を適切に維持していくためには、公共施設の更新や維持管理にかかる費用の負担を減らしていく必要があります。そのために積極的に実施すべき取組として、**あなたの考えに近いものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。**

- |    |   |
|----|---|
| 1  | 施設を補強し、しばらくの間建替えしないようにする                  |
| 2  | 現在ある施設の複合化による機能集約を行う                      |
| 3  | 現在ある施設の統廃合を行う                             |
| 4  | 国や県、近隣自治体と共同で施設を整備・管理運営する                 |
| 5  | 民間が保有する施設を公共施設として使用する（民間施設に助成する）          |
| 6  | 地域に密着する施設の管理運営を地域住民に任せる                   |
| 7  | 施設を整備・管理運営に民間のノウハウや資金を活用する（民間への譲渡を含む）     |
| 8  | 施設におけるサービスの水準を引き下げる                       |
| 9  | 利用されていない施設や土地の全部または一部を売却・賃貸して収入を得る        |
| 10 | 特別な税金等の徴収など町民全体で負担する                      |
| 11 | 使用料を徴収できる施設の料金を引き上げる                      |
| 12 | その他（ <span style="float: right;">）</span> |

問8 将来的に公共施設を見直すとしたら、どのような施設を優先して見直していくべきとお考えですか。**あなたの考えに近いものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。**

- |   |                      |    |   |
|---|----------------------|----|---|
| 1 | あまり利用されていない施設        | 2  | 主に一部の個人・団体が使っている施設                        |
| 3 | 公共性が低い(民間で運営できる)施設   | 4  | 老朽化が著しい施設                                 |
| 5 | 維持管理費用が高い施設          | 6  | 耐震化されていない施設                               |
| 7 | 同じようなサービスの施設が近隣にある施設 | 8  | 同じようなサービスの施設が民間で運営されている施設                 |
| 9 | 公共交通の便が悪い施設          | 10 | その他（ <span style="float: right;">）</span> |



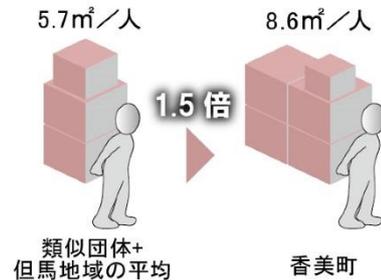
(2) 別紙

## 香美町における公共施設の現状と課題

### 1. たくさんの公共施設を保有しています。

庁舎・学校・公民館・体育館など、本町では、これまで多くの公共施設（ハコモノ）を整備してきました。

292 施設、総延床面積約 16.8 万㎡の公共施設を保有しており、その規模は、**関西の類似団体と但馬地域の平均の約 1.5 倍**となっています。



【人口一人当たり延床面積の比較】

※類似団体+但馬地域の平均は、人口規模・産業構造が類似する関西の 15 町と但馬地域 3 市における平均値

### 2. 老朽化が進行しています。

現在、町の**公共施設の 4 割以上が築 30 年を超え**ており、大規模改修や建替えが必要となっています。

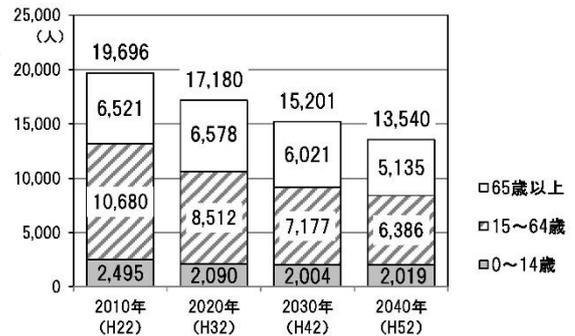
町の公共施設の多くは、昭和 50 年代から建てられているため、**10 年後には築 30 年を超える施設が 7 割**にのぼるなど、今後とも多くの施設が大規模改修や建替えの時期を迎えます。



### 3. 町民ニーズなどが変化しています。

人口減少傾向が一段と進むと予想され、**既存の公共施設の利用需要が変化**（余剰・余裕、不足施設が発生）すると考えられます。

建設当時と比べて、公共施設が担うべき役割・機能も変化しています。



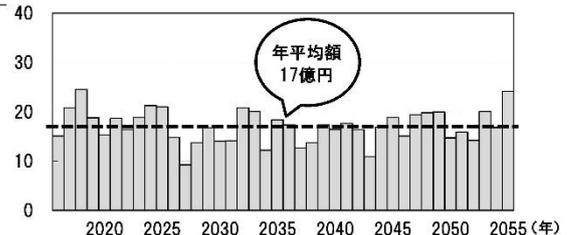
【人口構成の推移と将来見通し】

※香美町人口ビジョンによる推計

### 4. 多額の更新費用が見込まれます。

公共施設の建替えなどに係る費用を試算すると、今後 40 年間で**総額約 683 億円、年平均で約 17 億円が必要**になります。

現在の投資的経費の水準では、全ての公共施設を現状の規模で建替えなどを行うことは難しいと考えられます。



【建替えなどに係る費用の試算】

- 全国の自治体で、このような公共施設の老朽化問題（更新問題）を抱えています。
- 従来のやり方で、公共施設のすべてを維持しようとすれば、将来世代に大きな負担を残すこととなります。しかも、適切に維持されないと事故にもつながります。
- 町では、公共施設のあり方を見直し、財政負担の少ない最適な公共サービスの提供に向けた取組を進めています。

## 主な公共施設の一覧

種類	具体的な施設
公民館	香住区中央公民館、香住地区公民館、奥佐津地区公民館、佐津地区公民館、柴山地区公民館、長井地区公民館、余部地区公民館、村岡区中央公民館（村岡区民センター・村岡地区公民館）、兎塚地区公民館、射添地区公民館（射添会館）、小代区地域連携センター（小代地区公民館）
文化施設	香住文化会館、小代区総合センター、小代基幹集落センター
資料館等	村岡民俗資料館「まほろば」、香住天文館、八幡山公園、小代古代体験の森
体育施設 （屋内体育施設）	村岡体育館、福岡体育館、射添体育館、味取体育館、山田体育館、おじろドーム、香住B&G海洋センター
高齢者福祉施設	香住高齢者生産活動センター、香住老人福祉センター、香住高齢者ふれあい交流館、村岡リハビリセンター、村岡老人福祉センター、小代高齢者生活支援センター「いこいの里」
診療所	佐津診療所、兎塚診療所、川会診療所、小代診療所、兎塚歯科診療所、川会歯科診療所
観光施設	道の駅あまるべ、道の駅あゆの里・矢田川、道の駅ハチ北、村岡ファームガーデン、村岡・都市と農村交流センター、小代物産館、ジオパークと海の文化館、村岡観光案内所
宿泊施設	国民宿舎「ファミリーイン今子浦」
温泉施設	かすみ・矢田川温泉、ハチ北温泉湯治の郷、温泉保養館「おじろん」
野外レクリエーション施設	グリーンパークハチ北、瀬川溪谷憩いの森、御殿山公園、粗大池公園、但馬高原植物園、ハチ北高原パトロールセンター、ソラ山高原休憩所、小代ウォーターガーデン、吉滝キャンプ場、小代南部健康高原、美方高原休憩所、小代ふれあい歴史公園、小代ゴンドラリフト
行政施設	庁舎（役場、各地域局）、消防格納庫 など
産業施設	農業施設（9施設（村岡有機センターなど））、林業施設（1施設（木質バイオマスセンター））、水産業施設（4施設（香住魚類残さい等処理場など））
学校教育施設	小学校（11施設）、中学校（4施設）、給食センター（3施設）
子育て支援施設	幼稚園（9施設）、保育園（2施設）、認定こども園（1施設）、放課後児童クラブ（7施設）、子育て支援センター（8施設）
公営住宅等施設	町営住宅（14施設）、特定公共賃貸住宅（2施設）

※上記のほか、本町では、集会所、屋外体育施設や公園の管理棟、バス停留所、車庫・倉庫、公衆便所などの小規模な施設、廃棄物処理施設、斎場などを保有しています。